

第2回 令和8年熊本地震復旧・復興本部会議

令和8年（2026年）9月4日
熊 本 県

次 第

令和8年（2026年）9月4日（金）16:00～
於：知事応接室

1 開 会

2 議題

（1）各部からの被害状況及び取組みの報告

（2）令和8年熊本地震に係る国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況

（3）復旧・復興プランの策定について

3 復旧・復興本部長（知事）コメント

4 閉 会

議題（１）

各部からの被害状況及び取組みの報告

第2回 令和8年熊本地震復旧・復興本部会議

※下線は昨日14:00時点からの変更箇所

【人的被害・住家被害】 ※R8.9.4（金）14:00時点

○ 人的被害：404名

うち死亡：38名（①＋②）

①災害起因死者（市町村が災害が原因で死亡したことを確認した死者） 36名

②災害による負傷の悪化又は身体的負担による疾病により死亡した可能性のある死者 2名

※正式には市町村に設置される審査会を経て決定

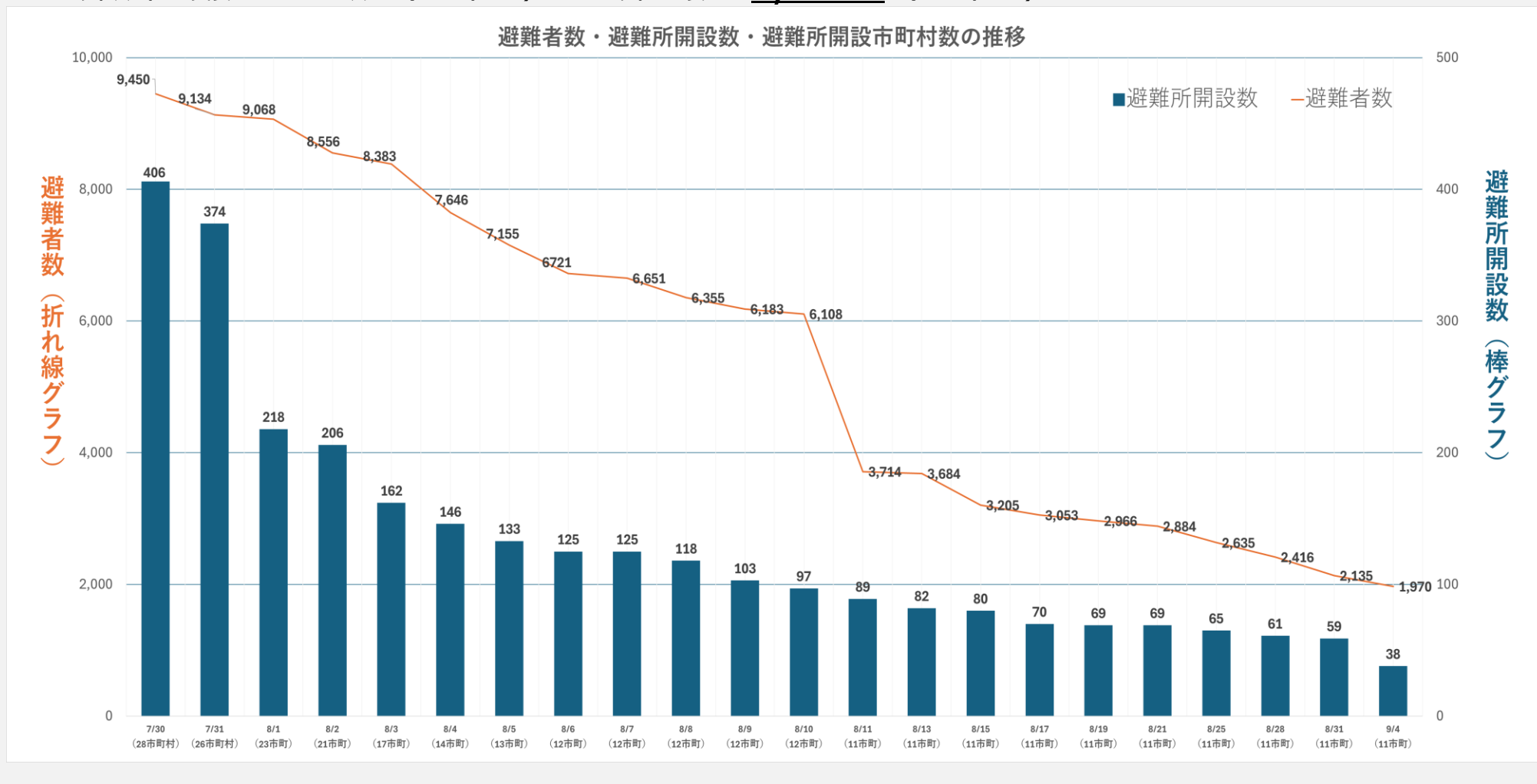
○ 住家被害：**64,903棟** ※推計値を含むものであり、今後修正が入る可能性あり。<内訳> 全壊 1,748棟／大規模半壊 336棟／半壊 **2,892棟**／一部破損 **32,417棟**／分類未確定 **27,510棟****【住家被害認定調査進捗状況・罹災証明書交付状況】** ※R8.9.2（水）時点○ 交付申請件数（一次調査＋二次調査）(a)：**73,890件**（前回**69,624件**）○ 調査実施件数（一次調査＋二次調査）(b)：**58,056件**（前回**52,339件**）○ 罹災証明書交付件数 (c)：**36,518件**（前回**32,146件**）調査率【目安】(b/a)：**78.6%**（前回**75.2%**） 交付率【目安】(c/a)：**49.4%**（前回**46.2%**）

※詳細は別紙のとおり

第2回 令和8年熊本地震復旧・復興本部会議

【避難に関する情報】 ※R8.9.4（金）14:00時点

避難所開設数：38か所（11市町）、避難者数：**1,970名**（10市町）



寄附金・義援金の受入状況
(令和8年9月3日現在)

受入額 **162 億 6,125 万円**

【前回(8月30日現在)比: + 11 億 400万円】

(内 訳)

種 別	件 数	受入額
① ふるさとくまもと応援寄附金 ※ 個人、県内法人、県外法人 (10万円未満)	41,367 件	7 億 4,890 万円
② 企業版ふるさと納税 ※ 県外法人 (10万円以上)	488 件	21 億 781 万円
③ 義援金	—	134 億 454 万円

〔②企業版ふるさと納税のうち、企業名、金額とも公表可とされた2,000万円以上の寄附者〕

明治ホールディングス(株)、日本電気(株)、(株)STARTO ENTERTAINMENT、富士フイルム(株)、
日本曹達(株)、(株)フェイスホールディングス、(株)フェイスグループ、さわかみ投信(株)、
(株)堀場エステック、(株)堀場製作所、(株)アップフロントグループ、(株)寛容社、(株)イズミ、
フィリップ モリス ジャパン(同)、西日本鉄道(株)、東海カーボン(株)

第2回

令和8年熊本地震復旧・復興本部会議

R8.9.3（木） 12：00時点

被害状況

【県在住外国人関係】

- ・ 人的被害 ○ 熊本県外国人サポートセンターに寄せられた被災情報は2件。
- ・ 情報の発信 ○ 熊本県外国人サポートセンターHPにおいて、災害のときにとる行動、相談先等を発信。
- 外国人を対象とした出張相談会を開催。【第1回】8/30(日)氷川町：27名参加（確定値）

【旅券申請関係】

- 災害救助法適用市町村において、旅券発給手数料減免を開始（半壊以上の被災者が対象）。

【くまモン関係】

- くまモン隊、くまモンスクエア、くまモン利用許諾事務局 人的被害なし。
- 8月16日(日)からくまモン隊の活動を再開。当面は、被災された方々に寄り添う活動を優先的に実施。
- くまモンスクエアは、施設の大きな被害はなく、共用通路壁の剥がれ、館内壁のひび割れを確認。
7月30日(木)から営業を再開し、8月21日(金)午後から定期ステージを再開した。
- 8月22日(土)から県内外での、**8月27日（木）から海外でのイベント等への出動を再開**した。



くまモンワールドツアーinタイの様子

【県広報関係】

- 県庁ホームページ内に、地震に関する特設ページを開設し、災害対策本部会議資料や注意喚起（被災時の熱中症対策等）などを一括して掲載するとともに、県庁各種SNSにより情報を発信する。

今後の対応

- 外国人留学生や外国人コミュニティ等からの情報収集を継続。
- 大使館、領事館等からの問い合わせに対応。
- 外国人サポートセンターにより市町村と連携した外国人からの相談への対応を実施。
- 外国人を対象とした出張相談会を開催。【第2回】9/6(日)宇城市【第3回】10月 八代市(調整中)
(共催)福岡出入国在留管理局、外国人技能実習機構、熊本県行政書士会、（一財）熊本市国際交流振興事業団等
(協力) AAR Japan、県内外国人コミュニティ等
- 令和8年熊本地震の被害等に対して行われる募金活動など、各種支援活動へのくまモンのイラスト利用については、7月29日から当面の間、現在公表している全てのイラストを届出制（許諾不要）とする特例措置を実施。



被害状況及び対応状況

【県庁舎等の施設の被害状況】

	宇城総合庁舎	宇城保健所
上水道	○（復旧完了）	○
下水道	○（復旧完了）	○（復旧完了）

【私立学校の被害状況等】

（人的被害）

- ・22校から生徒等の負傷等の報告あり。※うち学校管理下での負傷4校・17名

（物的被害）

- ・学校 53校（中高 19校、専修学校・各種学校 34校）

（全日制 中学・高校の2学期の開始状況）

- ・8/25予定→1週間遅れて9/1から開始（八代地域の1校）
- ・それ以外の学校は9/1までに予定どおり開始（28校）

現在及び今後の対応状況

【普通交付税の繰上げ交付（2回目）】

- 8月31日、普通交付税（11月交付予定額）の一部を繰上げ交付されることが決定
 - ・交付対象団体：県及び20市町村（災害救助法適用の21市町村のうち、不交付団体である菊陽町を除く）
 - ・繰上げ交付額：県分 約307億円、県内20市町村分 総額約309億円
 - ※普通交付税の11月交付予定額（年額の1/4相当）の一部（県分：5割、市町村分：7割）

○9月2日、現金交付

【市町村への総括的な支援に係る県職員派遣】

- ・八代市、宇城市、宇土市、美里町、氷川町の5市町に職員を派遣中。

第2回

令和8年熊本地震復旧・復興本部会議

R8.9.3（木）10：00時点

現在及び今後の対応状況

【短期の職員派遣】

- ・被災市町村に対する避難所支援等の人的支援ニーズに対し、対口支援及び県内自治体からの派遣を実施中。
本日9月3日現在、**804**人を派遣中（うち対口支援**616**人・県及び県内市町村職員**188**人）。※LO（情報連絡員）及び技術職除く
※そのほか、その他関係団体からの応援職員**66**人の派遣あり（総計**870**人）。（県及び総括支援チームの把握分のみ）

【9月3日の派遣状況】

→⑤その他：被災者支援受付業務等

（単位：人日）

派遣先市町村	①避難所支援	②罹災証明受付・交付	③住家被害認定調査	④災害ごみ処理	⑤その他	⑥保健師	計	派遣元団体（9/3派遣分）	累計（7/29～）
熊本市		10	42				52	【対口支援】茨城県、栃木県、 群馬県 、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、 横浜市 、 相模原市	3,917
八代市	89	9	115	6	4	4	227	【対口支援】福井県、京都府、大阪府、岡山県、山口県、長崎県、大分県、鹿児島県、沖縄県、さいたま市、名古屋市、京都市、大阪市、北九州市 【県内調整分】熊本県、人吉市、水俣市、 あさぎり町	6,620
宇土市	10	21	32	4	5		72	【対口支援】徳島県、香川県、福岡県 【県内調整分】熊本県、 荒尾市 、 苓北町	2,010
宇城市		85	74		16	10	185	【対口支援】石川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県 宮崎県、 仙台市 、川崎市、 新潟市 、静岡県、堺市、神戸市、福岡市 【県内調整分】熊本県、荒尾市、 玉名市 、山鹿市、菊池市、天草市、合志市、 大津町 、山都町	7,685
美里町		8	14		5		27	【対口支援】長崎県 【県内調整分】熊本県、天草市、 山江村	1,015
御船町		1	10		16		27	【対口支援】宮城県、山形県、福島県、新潟県 【県内調整分】熊本県、荒尾市、 和水町 、 南関町 、産山村	459
嘉島町			10				10	【対口支援】北海道、青森県、岩手県、秋田県	379
益城町				4	5		9	【県内調整分】熊本県、 玉東町 、 高森町	134
甲佐町	1	4	12		6		23	【県内調整分】熊本県、 玉東町 、 南関町 、菊陽町、南小国町、 小国町 、山都町	379
氷川町	63	20	53	8	28		172	【対口支援】鳥取県、島根県、広島県、愛媛県、高知県、佐賀県、浜松市、広島市 【県内調整分】熊本県、玉名市、山鹿市、 上天草市 、阿蘇市、 玉東町 、長洲町、 南小国町 、 南阿蘇村 、 錦町 あさぎり町 、相良村、 五木村 、球磨村	5,257
芦北町									208
計	163	158	362	22	85	14	804		28,063

※対口支援団体からの応援職員は、原則として①～③の業務に従事

※県及び県内市町村、その他関係団体は、主に④～⑥の業務に従事するほか、①～③の業務にも従事

【中長期の職員派遣】

- ・現在、県及び11市町（熊本市、八代市、宇土市、上天草市、宇城市、美里町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、氷川町）において、技術職員（農業土木、土木（上下水道含む）、建築、電気、機械）をはじめ、一般事務や保健師等の中長期の職員派遣を要望しているところ。
- ・要望については、九州地方知事会との調整を開始しており、九州ブロックへの職員派遣を要請しているところ。

交通機関の被害状況

○鉄道関係

●JR九州

- ・九州新幹線：熊本駅～新水俣駅間で、橋りょう等の土木関係約600箇所、線路関係約300箇所、電力関係約100箇所 等
- ・鹿児島本線：宇土駅～八代駅間で、橋りょう変状29箇所、乗降場変状7駅、軌道変状約10Km、電柱損傷27本、架線金具損傷300箇所超、駅内外装損傷2駅

●肥薩おれんじ鉄道

- ・災害箇所 96箇所 ※線路変状、架線断線、乗降場破損等被害多数（内訳：軌道土木55箇所、建築26箇所、電気15箇所）
- ・被害額 約10億円（内訳：軌道土木6～7億円、建築1.5億円、電気1.5億円）

○航空機関係

●熊本空港

- ・ターミナルビル及び貨物ビル
- 一部設備等に不具合があるものの、通常運用に支障なし

○バス関係

- ・産交バス：
八代営業所は建物亀裂・アスファルト隆起
その他営業所建物に亀裂・ガラス割れ
- ・熊本バス・熊本電鉄：営業所の建物亀裂
- ・都市バス：営業所の天井・機材破損

○タクシー関係

- ・熊本市、八代市、荒尾市、宇土市、上天草市、宇城市、人吉市、御船町及び益城町の38事業者39営業所における建物損壊、電気・水道・ガスの不通及び車両破損

<九州新幹線被害復旧状況>

【新八代駅】柱脚固定状況



<JR鹿児島本線被害復旧状況>

【松橋・小川間】損傷レール交換



交通機関の運行状況

○鉄道関係

＜JR九州：熊本エリア＞

- 九州新幹線(上下線) 熊本～新水俣：9月18日から、災害前と比較して9割程度の本数で運行再開予定
- 鹿児島本線(上下線) 宇土～八代：当面の間、運行取り止め（10月中旬頃の運行再開を目指している）
 ※8月19日から、通学時間帯を中心にJ R九州による宇土駅～小川駅間のバス代行を実施
 ※8月26日から、宇土駅～八代駅間においてもバス代行を実施。9月1日から運行本数を増便

＜肥薩おれんじ鉄道＞

- 肥後田浦～水俣間について、9月1日から運行再開。**運休区間の八代～肥後田浦間は、10月中旬頃の運行再開を目指している。**
 運休区間は9月1日から代行バスを増便し運行。別途、J R九州鹿児島本線と接続する代行バスの特別便を運行。

○バス関係

＜産交バス：路線バス＞

- 八代・宇城・宇土エリアにおける八代～松橋線、八代～宮原線、宇土駅～松橋線、宇土駅～砥用線等11路線について、9月1日から運行再開

○クーリングシェルター

- 産交バス(株)・八代市と連携して、八代市の避難所に提供していた大型バス2台（男性用・女性用各1台）のクーリングシェルターについて、9月1日からの路線バスの運行再開に伴い、8月31日をもって終了
 ※8/5～8/31利用実績：674人（男性464人、女性210人）



今後の対応

【交通関係】 交通機関の復旧や代替輸送を支援するとともに、運行状況について、引き続き情報収集に取り組み、適時適切な情報発信に努める。

【デジタル】 ●民間企業等の支援により、被災者支援業務へのデジタルの活用を積極的に進め、迅速な被災者支援と、対応職員の業務量軽減を図っている。

＜事例＞ ・ホテル等避難者の健康観察 ・医療施設等災害復旧費補助金業務
 ・被災事業者再建支援補助金業務 ・義援金管理業務 など

- D-CERT派遣による県及び市町村への支援に向けた被災状況やニーズの把握

【社会福祉施設、医療機関等における被害状況】

＜医療機関等における水の確保＞

○給水支援本部による調整のうえ、医療機関や社会福祉施設等へ給水中。

〈人的被害〉救護施設や医療機関等において、負傷者あり（骨折、軽傷ほか）

〈物的被害〉医療機関：273施設、薬局：143施設、高齢者施設：997施設、児童福祉施設等：511施設、障がい者福祉施設：359施設、救護施設：3施設、と畜場：2施設、県有施設：5施設（保健環境科学研究所、福祉総合相談所、動物愛護センター、こども総合療育センター等）

【避難所の環境整備・二次避難の推進】

＜拠点避難所の整備＞

○避難所での生活が長期化する方々に対して、健康状態の確認やきめ細かいケアなど、より適切に対応できる環境を整えるために、関係市町の意向を丁寧に伺いながら、国と連携し、拠点避難所の整備を推進。

＜避難所数＞

市町村	最大	現在	市町村	最大	現在
八代市	63	16	宇土市	9	1
宇城市	11	8	美里町	14	1
氷川町	9	3			

＜食事・トイレ・洗濯の環境充実＞

○栄養バランスの取れた弁当への移行、キッチンカーによる適温食や食の要配慮者（アレルギーや嚥下困難等）対応食の提供等を推進。
○トイレカーや仮設トイレ等の設置、移動式ランドリーカーによる洗濯・乾燥の機会を提供。

＜宿泊支援提供事業（ホテル等避難）＞

○熊本市・宇土市・宇城市・八代市・氷川町・甲佐町・美里町・御船町・嘉島町・益城町において実施中。
○「熊本県ホテル等避難者健康観察コールセンター」を開設し、デジタル技術も活用した健康観察及び避難先への見回り訪問を実施中。

＜ペット関係＞

○ペットの一時預かり、健康相談会を実施。

【被災者の生活再建支援】

＜被災者生活再建支援金＞ ※県内全市町村

○被災者生活再建支援法の適用を決定し、準備が整った市町村から順次、申請窓口を開設。 ※申請件数(9/3時点) 222件

＜緊急小口資金の特例貸付＞ ※災害救助法適用市町村のみ

○低所得者を対象とした緊急小口資金の特例措置として、対象を被災世帯に拡大し貸付を実施。8/19から市町村社会福祉協議会にて申請受付開始。 ※申請件数(8/27時点速報値) 1,361件

＜災害弔慰金・災害障害見舞金＞ ※関連予算を8月議会に提案中

○災害により死亡又は重度の障害を受けた住民・遺族に対して災害弔慰金・災害障害見舞金を支給。今後、必要に応じて市町村が認定・支給。

＜災害援護資金＞ ※関連予算を8月議会に提案中

○災害により被災した世帯に対して資金の貸付を行う。準備が整った市町村から順次、申請窓口を開設。

＜地域支え合いセンターの設置＞ ※関連予算を8月議会に提案中

○被災者の生活再建と自立を支援するため、見守り・生活支援・地域交流の促進等の総合的な支援体制を構築。県社協が地域支え合いセンター支援事務所を設置後、市町村が順次、センターを設置。

＜こころのケアセンターの設置＞ ※関連予算を8月議会に提案中

○被災者や被災者を支える支援者への心のケアを目的として、10月初旬を目途に設置予定。

対応状況

【すまいの再建支援】（応急仮設住宅の供与）

＜建設型応急住宅＞

【整備状況】 県整備分(熊本市以外) 18団地 503戸

熊本市（3団地 計50戸）
→全ての団地：入居者募集中

八代市（5団地 計138戸）
→全ての団地：入居者募集中

宇土市（2団地 計62戸）
→**全ての団地：入居者募集中**

宇城市（4団地 計149戸）
→**第1期(50戸)分：入居者募集中**

美里町（2団地 計52戸）
→全ての団地：入居者募集中

甲佐町（1団地 計20戸）
→乙女仮設団地：入居者募集中

氷川町（4団地 計82戸）
→吉本仮設団地：9/5入居開始(予定) →
→鹿島仮設団地：入居者募集中



※住家の被害状況や被災者の意向を踏まえ、必要戸数を精査し、必要に応じて追加整備を行う。

※県内初の2階建て仮設住宅を建設。
(八代市：植柳上仮設団地、海士江仮設団地、氷川町：新村仮設団地)

※生業の継続等の事情から自宅を離れることが困難な被災者に対し、自宅敷地内へ建設型応急住宅を設置できることとした。



＜賃貸型応急住宅（みなし仮設住宅）＞

【概要】

民間賃貸住宅を借り上げて無償で提供

※入居者、貸主、県で三者契約を締結。

※光熱水費、駐車場費、自治会費等は入居者負担。

【実施市町村】

災害救助法が適用された市町村

※八代市、宇城市、氷川町等で賃貸型応急住宅の相談支援窓口を設置。
※罹災証明書の発行前でも、写真等により一見して「全壊」である旨が確認できる場合は申請可能（罹災証明書は事後提出）。

【応急仮設住宅の入居状況】（R8.8.31現在）

区分	入居戸数	入居者数
建設型応急住宅	0 (0)	0 (0)
賃貸型応急住宅	4 9 (5)	1 1 5 (10)
公営住宅等	2 4 (11)	4 4 (22)
計	7 3 (16)	1 5 9 (32)

()は、熊本市分の内数

【熱中症等の啓発・注意喚起の取組み】

＜熱中症・エコノミークラス症候群対策＞

- 県HP掲載・公式SNSによる注意喚起（X、Facebook、LINE、Instagram）
※知事自らのメッセージ動画掲載
- メディアによる広報
 - ・県政テレビ（TKU）CM放映
 - ・県政ラジオ（NHK/RKK）で呼びかけ
- チラシの掲示・配布
避難所、ガソリンスタンド、給水スポット、コンビニ等
- 市町村における防災無線による呼びかけの実施
- 保健医療活動支援者、警察等関係機関の協力による啓発活動



車中泊健康相談ダイヤル
☎ 050-3499-7402
(8:30~23:00)

＜エコノミークラス症候群対策＞

- 保健医療活動支援者による弾性ストッキングを活用した避難所等における対策を実施

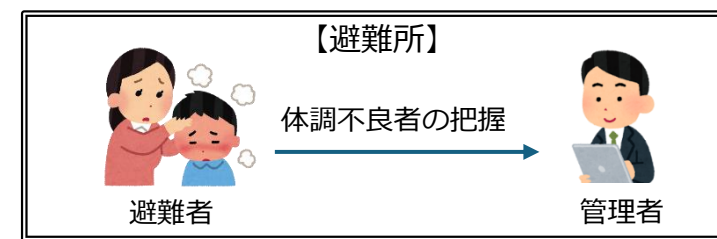
＜誤嚥性肺炎予防対策＞

- 口腔ケア啓発チラシの県HP掲載・掲示・配布
- JDATチームが避難所を個別に訪問し、歯ブラシ等の口腔衛生用品の配布、口腔ケアや口腔体操等の歯科保健医療活動を実施

【感染症・食中毒対策の取組み】

＜避難所拠点化に伴う感染症・食中毒対策＞

- 県HP・公式SNS・県政テレビ等による注意喚起
- 感染症・食中毒予防のポスター掲示
- アルコール消毒薬の設置
- 定期的な換気
- 体調不良者の把握
 - ・インフルエンザ、新型コロナ診断時
 - ・嘔吐、下痢患者の発生時 等

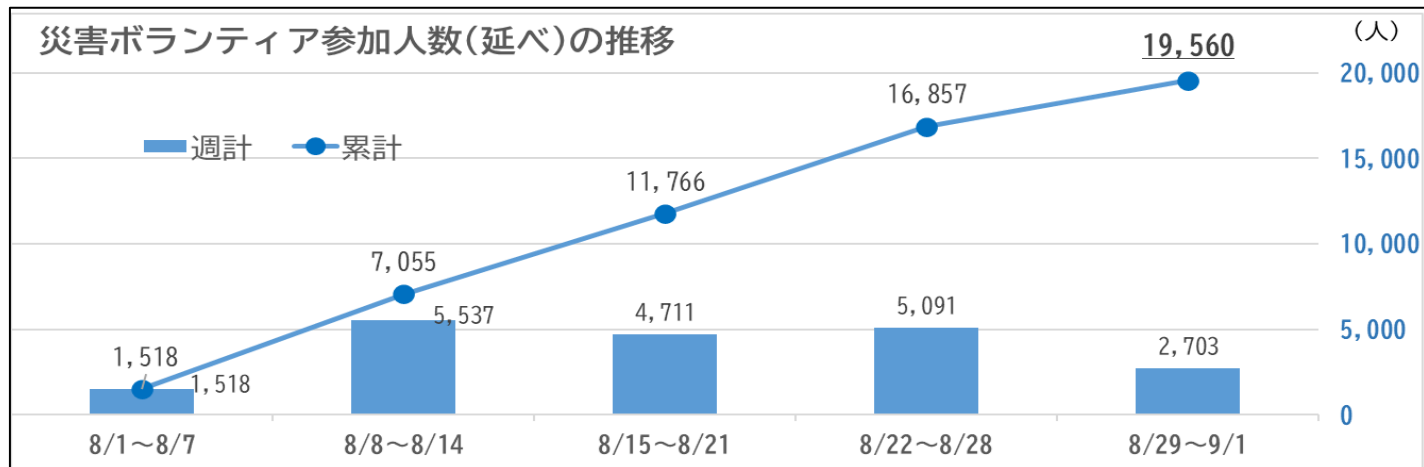


対策方法の助言等 ↑ ↓ 体調不良者の報告



【災害ボランティア関係】

市町名	参加人数(延べ) R8.9.1時点
熊本市	<u>1,523人</u>
八代市	<u>3,823人</u>
宇土市	<u>1,531人</u>
宇城市	<u>6,470人</u>
美里町	<u>993人</u>
御船町	<u>1,295人</u>
嘉島町	<u>325人</u>
益城町	<u>1,113人</u>
甲佐町	<u>487人</u>
氷川町	<u>1,732人</u>
芦北町	<u>268人</u>
計	<u>19,560人</u>



＜災害ボランティアバスの運行＞ ☆運賃無料☆ 熊本市内～3市町ボランティアセンター間を1日1往復

出発	行先	定員	9月（予定）
桜町BT（7:20発/16:45着） 熊本駅（7:40発/17:05着）	八代市 9:00着 15:30発	各日 20名	毎週月曜日・金曜日 【4日(金)は運休】
桜町BT（7:45発/16:30着） 熊本駅（8:05発/16:50着）	宇城市 9:00着 15:30発	各日 30名	7(月)、9(水)、10(木)、14(月)、17(木)、24(木)、28(月) 上記以外の平日【8日(火)、29日(火)は運休】 ※すでにボランティア申込済の方のみ乗車可能
桜町BT（7:30発/17:00着） 熊本駅（7:50発/17:20着）	氷川町 9:00着 16:00発	各日 20名	毎週火曜日～金曜日 【4日(金)は運休】

※下線の日 of バス乗車は各社協ホームページでボランティア申込済の方が対象。

○申込及び詳細は九州産交ツーリズム株式会社ホームページを参照。



八代市申込 宇城市申込 氷川町申込

被害状況**【井戸の状況】**

- 今回被害が大きかった八代市では、金剛地区等を中心に、被害戸数は約4,500戸（八代市調べ）。

【廃棄物処理施設等の状況】

- ごみ処理関係：（焼却施設）全15施設通常稼働（収集運搬）全市町村通常通り
- 仮置場関係：宇城市、八代市、氷川町など現在9市町で開設中
- し尿処理施設関係：通常稼働13、稼働不可1（八代生活環境事務組合）→別施設で処理中

これまで・今後の対応**【水道・井戸関係】**

- 水の安定供給のため、国交省の協力を得て「給水支援本部」を立上げ、情報集約を一元的に行う体制を構築。
最大約10万8千戸の断水が発生したが、8月28日にすべての水道本管の応急復旧が完了。
- 被災した井戸使用者支援のため「井戸水対応チーム」を設置。被災した井戸の不具合の原因調査（洗浄等）を実施中。

【災害廃棄物処理関係】

- 環境省の現地対策本部派遣チームと連携して災害廃棄物対策等を行うとともに被災市町村への技術的、人的支援を継続。また、環境省・熊本県・熊本市が共同で「災害廃棄物支援調整本部」を立上げ、被災市町村の支援等を調整。
- 令和8年熊本地震 災害廃棄物処理基本方針（8/20公表）に基づき、「熊本県災害廃棄物処理実行計画」を策定（8/21）
- 公費解体申請受付を開始（9/3時点 甲佐町、御船町、芦北町）

【県民生活関係】

- 性暴力被害者のためのサポートセンター「ゆあさいどくまもと」が避難所等を巡回。（8/27～）

被害状況

【県有施設等】

- グランメッセ熊本：
 - ・ABCホールを物資集積拠点として使用中（7/29～2か月程度）
 - ・2F部分と駐車場のみ一般供用中（9/1～）

【商工関連事業者等】

- 商工業関連 全体 7,881件、被害額1,559億円（中堅・大企業、被害額確認中含む）
（うち 中小企業 7,745件、被害額1,339億円（推計額含む））
「局激」（局地激甚災害）指定・・・御船町、八代市、宇城市、嘉島町、氷川町

対応状況

【被災商工関連事業者等への支援】

- 支援パッケージ（8/27国公表）を基に、中小・小規模事業者等の施設等復旧について「自治体連携型補助金」を活用した支援に向け準備中。
- 県に特別相談窓口を設置。 商工振興金融課 096-333-2314／096-333-2326
9/1時点 相談件数**126**件（内訳：補助金**61**件、融資**52**件、その他（支援全般）13件）
- 中小・小規模事業者を対象に、熊本県独自の融資制度を8/24（月）から受付開始（別添参照）
- 熊本県信用保証協会において、中小・小規模事業者向けの緊急時短期資金保証制度及び緊急時条件変更の取扱い中
- 被災企業調査・支援チームを設置し、八代・宇城・宇土等の被災企業の実態調査を継続するとともに、各種課題等への対応。116社訪問
- 熊本労働局と連携した取組みについて具体策を検討（被災企業の支援、雇用調整助成金等）
⇒9月に八代市、宇城市、熊本市で雇用調整助成金等の説明会を計17回開催し、国、県の事業者支援策を説明予定。
第1回（9/2、八代市40名）及び第2回（9/4、宇城市20名）は満席で開催。第3回は9/7（月）に宇城市で開催。

○被災事業者の施設・設備の復旧について、繰り返す大規模災害による重複被災が生じたことを踏まえた特例として、「自治体連携型補助金」を通じて、「なりわい再建支援補助金」並みの高い補助率で、中堅企業・中小企業・小規模事業者を支援するほか、多重被災事業者には、上限15億円のうち5億円まで10/10定額補助を講じる。
○各省庁が行う、なりわい並みの支援について、熊本県の事務負担軽減を目的に、熊本県から関係省庁への窓口を一元化。

相談窓口

実施済

・特別相談窓口

被災事業者向けに、商工団体及び政府系金融機関等に特別相談窓口を設置し、経営相談を受け付ける体制を整備。（県内21箇所）

施設・設備の復旧支援

・被災中小企業等の施設・設備復旧支援（自治体連携型補助金）

被災した中堅企業（補助率1/2）・中小企業・小規模事業者（3/4）が対象。多重被災事業者は上限15億円、うち5億円は10/10定額補助を実施。その他事業者は上限3億円。

<実施スケジュール> ※熊本県側の予算手続を含め準備中

販路開拓支援

・小規模事業者持続化補助金（災害支援枠）

被災小規模事業者が対象。多重被災事業者には10/10補助を実施。上限200万円（直接被害）、同100万円（間接被害）、補助率2/3
<実施スケジュール>

公募要領公開：令和8年9月9日（水）

申請期間：令和8年9月16日（水）～10月16日（金）

商店街支援

・商店街災害復旧事業/商店街にぎわい創出事業

商店街等組織の設備復旧への支援や、にぎわいを取り戻すための事業への支援を実施。

【ハード支援】補助上限なし、補助率1/2

【ソフト支援】補助上限100万円（下限30万円）、補助率10/10（直接被害）2/3（その他の商店街等）

<実施スケジュール> ※熊本県側の予算手続を含め準備中

窓口一元化

実施済

○情報共有会議の実施

（熊本県+関係省庁（中企・農水・厚労・文科））

①予算・執行スケジュールの共有

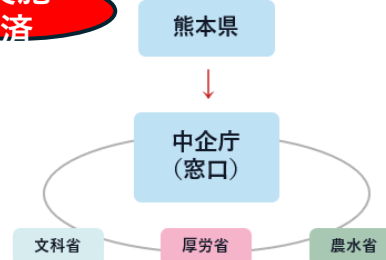
②被害状況・復旧事業の進捗状況の共有

③補助事業の執行状況の共有

※執行における不明点の問い合わせ等を含む。

【開催状況】

9/2(水)熊本県・農水・厚労・文科と第1回情報共有会議を実施



資金繰り支援

・災害復旧貸付（日本政策金融公庫）

実施済

被災した中小企業・小規模事業者を対象に貸付を実施。

貸付限度額：国民生活事業：各制度の限度額に上乗せ3000万円

中小企業事業：別枠1.5億円

貸付期間：運転資金10年以内、設備資金20年以内

【局激指定市町】1千万円を限度に貸付金利を0.9%引下げ（貸付後3年間）

・セーフティネット保証4号（信用保証協会）

実施済

熊本県内の災救法適用地域において、被災した中小企業・小規模事業者を対象に通常とは別枠で100%保証を実施。（上限2.8億円）

・災害関係保証（信用保証協会）

実施済

セーフティネット保証4号と更に別枠で100%保証（上限2.8億円）

※局激指定市町のみ

・既往債務を抱える事業者への支援

一部実施済

中小企業活性化協議会において、債務調整等を通じた事業再生等の支援を実施するとともに、地域金融機関とも協議の上、中小機構等を活用した官民ファンドを含む様々な金融ツールを検討。

【意見交換等】

8/18(火)赤澤大臣が被災中小企業・商工団体を視察・意見交換。越智政務官と商工団体及び被災中小企業との意見交換を調整中。

施設・設備の復旧や、事業継続のための資金繰りを支援する主な制度をまとめています。

こんな方へ

- ✓ 機械・設備・店舗などに被害を受けた事業者
- ✓ 事業再開に向けた資金繰りに不安がある事業者

主な支援メニュー

復 施設・設備の復旧

被災事業者の再建支援補助
(自治体連携型補助金)

施設・設備の復旧を支援
※熊本県にて制度詳細を準備中

小規模事業者持続化補助金
(災害支援枠)

迅速な販路再開を支援

資 資金繰り支援

災害復旧貸付

運転・復旧資金を融資

信用保証

運転・復旧資金の調達を支援

相談先機関の一覧

支援メニューについては、QRコードの一覧から各機関にお問い合わせください。



施設・設備の復旧

被災事業者の再建支援補助（自治体連携型補助金）※熊本県側の予算手続き含め準備中

対象 熊本県内全域の被災した中堅企業・中小企業・小規模事業者
補助率 中小企業・小規模事業者：3/4 / 中堅企業：1/2
上限額 3億円（複数回被災事業者は上限15億円（5億円まで10/10補助））
お問い合わせ先：熊本県庁 商工振興金融課 096-333-2338

小規模事業者持続化補助金（災害支援枠）

対象 熊本県内全域の被災した小規模事業者
補助率 補助率2/3（複数回被災事業者は10/10定額補助）
上限額 上限200万円（直接被害） / 100万円（間接被害）
申請予定 公募要領：9月9日 / 申請期間：9月16日～10月16日
お問い合わせ先：最寄りの商工会・商工会議所

事務局HP



商工会地区



商工会議所地区

資金繰り支援

災害復旧貸付（日本政策金融公庫等）

対象 熊本県内の被災した中小企業・小規模事業者
限度額 国民生活事業：各制度の限度額に上乗せ3,000万円
中小企業事業：別枠1.5億円
貸付期間 運転資金10年以内 / 設備資金20年以内
特例 八代市、宇城市、御船町、氷川町、嘉島町で事業を営む方
1,000万円を上限に金利を0.9%引き下げ（貸付後3年間）
お問い合わせ先：最寄りの日本政策金融公庫

信用保証（信用保証協会）

○セーフティネット保証4号

保証内容 被災した中小企業・小規模事業者に対し、通常の保証とは別枠で100%保証
保証限度額：2.8億円（普通保証2億円、無担保保証8千万円）

○災害関係保証

対象地域 八代市、宇城市、御船町、氷川町、嘉島町

保証内容 被災した中小企業・小規模事業者に対し、通常及びセーフティネット保証4号
とはさらに別枠で100%保証

お問い合わせ先：最寄りの信用保証協会

現在及び今後の対応

【1 ホテル等避難】

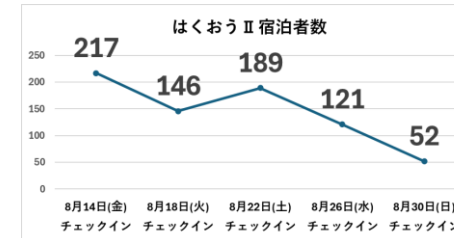
- 被災地に近い八代、水俣芦北、人吉球磨のホテルを中心に受入施設を掘り起こし、県内204施設を確保。

八代、水俣芦北、人吉球磨	その他県内	合計
30施設	174施設	204施設

- 8月3日（月）13：30から避難所でチラシ設置により周知を行い、申請フォームから受付を開始。
- 9月3日（木）12：00時点** 申込件数**1,516**件
（連絡済**1,513**件：マッチング済み件数**577**件**1,239**人 調整中**282**件 辞退**604**件 不通**50**件）
- 8月8日（土）13：00から専用コールセンターを開設。0120-325-327（9:30～17:30 ※土日祝も運営）

【2 はくおうⅡの受入】

- はくおうⅡでの入浴・宿泊（2泊又は1泊）支援を引き続き実施中。
- 宿泊者数実績（8/30チェックインまで）：350件725人
- はくおうⅡの支援は9月13日（日）で終了予定。**



【3 宿泊キャンセル調査】

- 関係団体や市町村を通じて、県内宿泊施設のキャンセル状況調査を実施。
- 8月21日（金）10：00で把握したキャンセル状況は以下及び右図のとおり。
＜調査結果概要＞（7/28～8/21以降のキャンセルを含む。）
○キャンセル人泊数： 約190,600人泊 ※暫定値
○キャンセル額： 約27億円 ※暫定値
※「キャンセル人泊数」又は「キャンセル額」いずれか一方しか回答がなかったものについても計上。

地域	キャンセル状況	
	人泊数	キャンセル額 (百万円)
熊本市	29,854	333
宇城	2,300	12
上益城	4,673	39
菊池	10,490	94
玉名	14,758	200
鹿本	9,775	158
阿蘇	60,206	981
八代	5,462	48
芦北	6,047	77
球磨	12,608	163
天草	34,451	588
合計	190,624	2,693

【4 宿泊施設の被害額】

- 商工労働部が本日報告した被害額のうち、宿泊業関係は約62億円
（建物・設備等のハード被害のみ。キャンセル額は含まない。）

（※）表示単位未満を四捨五入しているため、地域ごとの合計は全体合計とは一致しない。

現在及び今後の対応

【5 市町村独自の観光需要喚起策一覧（R8.9.4時点）】

市町村名	実施時期	実施内容	市町村名	実施時期	実施内容
人吉市	9月1日（火） ～9月30日（水）	○宿泊料の割引 ①10,000円未満→対象外 ②10,000円以上15,000円未満→4,000円割引 ③15,000円以上25,000円未満→6,000円割引 ④25,000円以上→10,000円割引 10,000円以上の宿泊者は2,000円分のクーポン付き	小国町	9月7日（月） ～9月30日（水）	町内の登録宿泊施設で利用可能な「小国町宿泊専用商品券（9月限定）」事業を実施 販売価格・内容：10,000円分（1,000円×10枚）の商品券を5,000円で販売 購入上限：ご宿泊者1名につき2セットまで
水俣市	9月19日（土） ～11月30日（月）	○宿泊補助 ①3,000円以上10,000円未満→2,000円引き ②10,000円以上15,000円未満→5,000円引き ③15,000円以上20,000円未満→7,000円引き ④20,000円以上→10,000円引き お1人様1泊につき、1,000円のお買い物チケット	産山村	9月7日（月） ～9月30日（水）	宿泊代金に応じて「阿蘇ふっこう割商品券」を配布 ・1人につき宿泊20,000円以上で10,000円分 ・1人につき宿泊10,000円以上で5,000円分 ・1人につき宿泊5,000円以上で2,000円分 ・ツアーによる宿泊は1人につき5,000円分 ※予約は9/1～
天草市	9月11日（金） ～12月28日（月）	対象期間内に対象宿泊施設に宿泊し、天草元気旅チャージ券運営事務局（（一社）天草宝島観光協会）にチャージ券発行の申し込みをした人に、天草市デジタル地域通貨「天草のさりー」のポイント（最大1万円分）のチャージ券を発行。	高森町	9月7日（月） ～9月30日（水）	宿泊費の最大50%を補助（補助上限額10,000円）
上天草市	9月4日（金） ～9月30日（水）	宿泊料（消費税・入湯税別）の2分の1が助成され、お1人様あたり20,000円が上限	南阿蘇村	9月7日（月） ～9月30日（水）	宿泊代の1/2（上限5,000円）を村内限定商品券で還元 ※土曜、シルバーウィークは対象外
阿蘇市	9月7日（月） ～9月30日（水）	宿泊施設最大5,000円割引＋地域クーポン2,000円分付き	西原村	9月7日（月） ～9月30日（水）	西原村内で使える「旅泊応援チケット」をプレゼント ○お1人様1泊につき 4,000円～10,000円未満→旅泊応援チケット2,000円分 10,000円～15,000円未満→旅泊応援チケット5,000円分 15,000円～20,000円未満→旅泊応援チケット7,000円分 20,000円～→旅泊応援チケット10,000円分
南小国町	9月1日（火） ～9月30日（水）	1セット 20,000円分の商品券が10,000円（現金払いのみ） ※2026年8月28日（金）15:00～ ※8/28完売	津奈木町	8月23日（日） ～9月29日（火）	<つなぎ笑顔応援割> つなぎ温泉ホテル四季彩 ランチ：500円/人 宿泊：4,000円/人 ※併用可能

令和8年熊本地震復旧・復興本部会議

R8.9.3（木）12：00時点

被害状況

■令和8年熊本地震による農林水産業関連の被害額は、約1,576億円

※8/31時点の速報値であり、今後も増加する見込み

(1) 農畜産業	○農作物等（梨等）	3.7億円
	○農業施設（機械、共同利用施設等）	540.2億円
(2) 農地等	○田・畑、農業用施設、海岸保全施設	960.1億円
(3) 林業	○林地・林産施設等	27.7億円
(4) 水産業	○海岸・漁港等	43.8億円

【参考】過去の大規模災害時の農林水産関係被害額

平成28年熊本地震	約1,826億円
令和2年7月豪雨	約1,019億円
令和7年8月豪雨	約861億円

1. 農畜産業の被害

	概要	被害面積等	被害金額(千円)	地域
果樹	落果（梨、ブドウ、晩白柚）	90.5ha	365,429	八代、宇城、熊本、菊池
野菜	枯死（きゅうり）	0.3ha	1,746	宇城
工芸作物	乾燥不良（葉タバコ）	0.3t	611	宇城
花き	鉢の損傷（シクラメン）	2千鉢	762	阿蘇
畜産	家畜の死亡（採卵鶏）	4,470羽	4,917	宇城、菊池
	廃棄（生乳）	1.7t	209	菊池
農作物等被害額 計			373,674	
農業機械・施設	農業用機械（トラクター、田植え機、コンバイン、い草専用機械、米乾燥機、暖房機等）の故障、農舎、畜舎、農業用ハウスの倒壊・損壊	約2,500件	18,200,206	八代、宇城、上益城、熊本、芦北、天草、阿蘇、菊池
共同利用施設等	工場施設、選果場、カトリンエレベーター、集荷場等の損壊、施設設備の故障・破損	66件	35,815,001	熊本、宇城、芦北、八代、上益城、玉名、菊池、天草、阿蘇
農業施設被害額 計			54,015,207	

- ・調査が完了したものから被害額等を計上している。
- ・右側地域欄は、現在調査中の地域も含めて記載している。

2. 農地・農業用施設等の被害

	被害状況	被害箇所数	被害金額(千円)	地域
田・畑	法面崩れ等	5,035	6,117,468	八代、上益城、宇城、熊本、菊池、天草、阿蘇、玉名、芦北
農業用施設	水路、排水機場、ため池、道路、頭首工の損傷等	9,159	67,695,549	八代、宇城、上益城、熊本、菊池、天草、阿蘇、玉名、芦北、球磨
海岸保全施設	堤防の亀裂や沈下等	835	22,200,000	八代、宇城、熊本
農地・農業用施設等被害額 計			96,013,017	

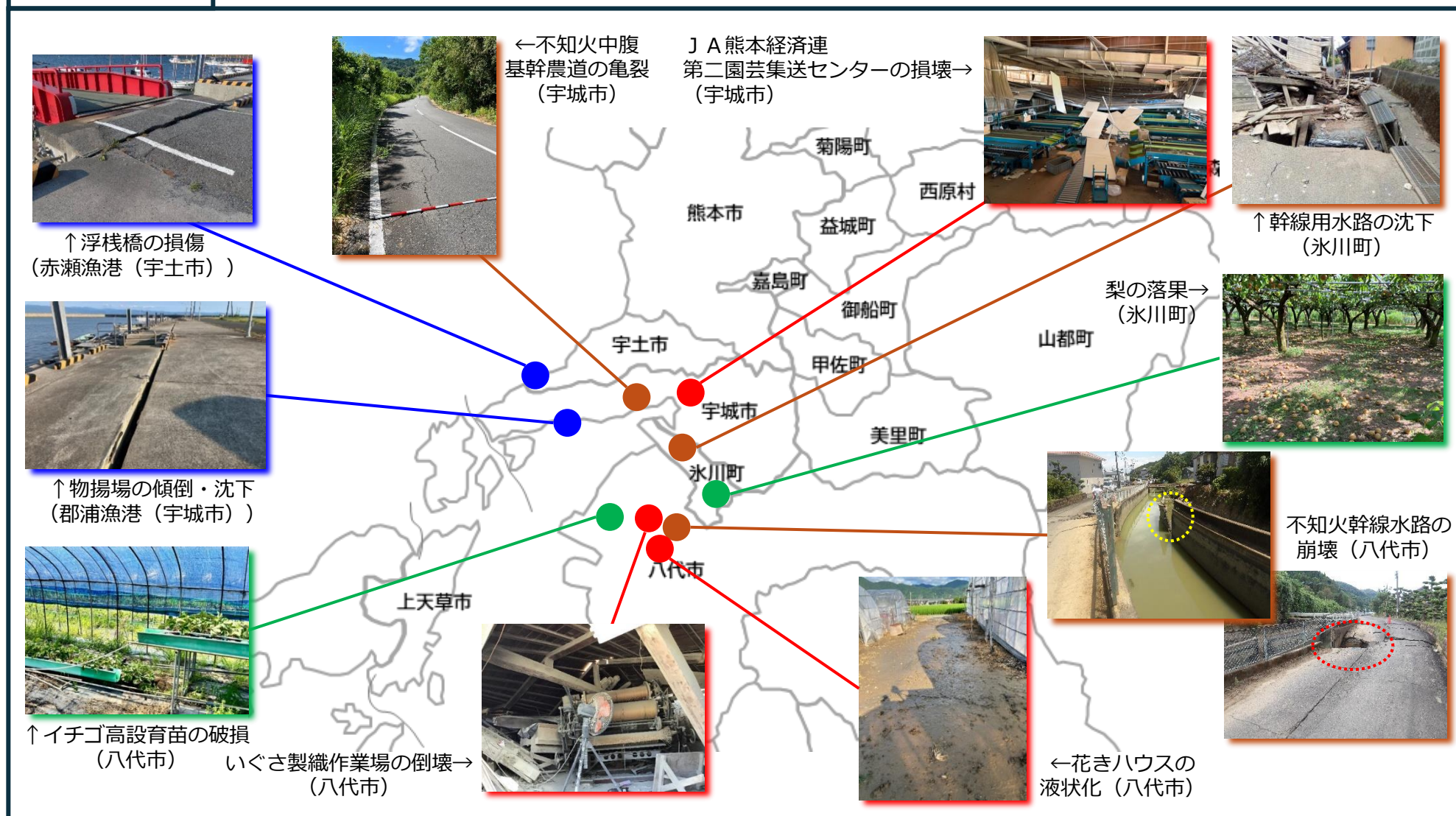
3. 林業の被害

	被害状況	被害箇所数	被害金額(千円)	地域
林道	法面崩壊、落石	105	214,750	上益城、天草、八代
林地	山腹崩壊、落石	6	428,500	球磨、上益城、天草、宇城、阿蘇
林産施設	林産物加工施設、苗木生産施設等の損傷	35	2,129,278	八代、宇城、上益城、熊本、芦北、玉名、天草
林業被害額 計			2,772,528	

4. 水産業の被害

	被害状況	被害箇所数	被害金額(千円)	地域
海岸・漁港	浮桟橋の損傷、防波堤の損傷等	31	4,001,000	宇城、芦北、天草、八代、熊本
共同利用施設等	荷さばき施設の損壊、漁協事務所の損壊等	28	233,346	八代、芦北、宇城、天草、熊本、玉名
水産物・養殖施設	ニジマス等のへい死、養殖場の破損等	49	141,970	八代、熊本、宇城
水産業被害額 計			4,376,316	

主な被災箇所



対応状況

■品目別対策プロジェクトチーム(PT)による取組み状況・今後の対応
産地の復旧・復興に向けて、8/3に7つの品目別対策PTを設置。

①土地利用型作物PT

- ・用水不足となった主食用米のWCS用稲等への用途変更支援(8/24～)。
- ・収穫作業の受委託調整や集荷施設間の連携体制の構築。

②いぐさPT

- ・被災による苗不足に備えた八月苗増産への支援。
- ・畳表製織施設等の損壊に伴う原草、機械の保管場所確保への支援。

③梨PT

- ・落下果実の処理及び病害まん延防止の取組みを支援。
- ・地域ぐるみで行う樹勢回復等(追加的な葉面散布や枝のせん除等)を支援。

④イチゴPT

- ・氷川町全イチゴ生産者への被害実態・要望を聞き取り調査(苗不足、水確保等)。
→未通水対策PTと連携し、個別被害や必要な支援策を可視化
- ・不足が懸念されるイチゴ苗の相互補完体制の構築(ゆうべに・恋みのり)。

⑤トマト・ミニトマトPT

- ・八代地域では約7割、宇城地域では約8割のほ場で定植が完了(～8/27)。
- ・集出荷施設の被災に伴う受入れ体制の構築支援。

⑥集出荷施設PT

- ・短期的対策(集荷物の横持ち等)と長期的対策(施設の再取得・修繕等)について関係機関と協議。
- ・復興と併せて、地域農業の構造転換に向けた集出荷施設の更なる再編集約・合理化を推進。

⑦土壌分析PT

- ・農業用地下水など計166点を分析中。
- ・塩分濃度が高かった32点の地下水等について、代替水の確保を支援。



【土地利用型作物PT】
水稻の用途変更手続き



【いぐさPT】
八月苗の様子



【梨PT】
手選果による梱包・出荷



【イチゴPT】
個別取水状況等の可視化



【トマト・ミニトマトPT】
被災後に定植されたトマトほ場



【土壌分析PT】
土壌分析の様子

対応状況

■農村振興局プロジェクトチーム(PT)による取り組み状況、今後の対応

8/3に農業用施設の応急復旧対応等に係るPT活動を開始。

8/10からMAFF-SAT(農林水産省サポート・アドバイス・チーム)の技術支援を受け取組みを強化。

①未通水関係PT

[氷川大堰掛り]

- ・9/1までに幹線水路(総延長13.6km)の機能確認を**実施済み**。
- ・支線水路の通水確認と必要箇所の応急復旧を実施中。
- ・定植を控えたいちごやいぐさについて、作付け予定や取水状況を可視化し、河川水からの取水や給水スタンド、井戸の活用など農業用水確保に向けあらゆる取組を実施中。
- ・農業者の不安払しょくに向け、イチゴ農家を対象とした復旧状況の説明会を**実施**(9/3)。

②排水機場関係PT

- ・運転に支障がある6機場で応急復旧工事を実施中であり、**うち1機場で応急復旧(排水管交換)完了**。
- ・8/17から樋管内部の目地補修及び周辺の応急工事に着手。
- ・今後の大雨や台風等に備え、仮排水ポンプを8/7から順次59台設置し、これから更に65台増設予定。
- ・今後、被災状況に応じた復旧計画を策定予定。

③海岸保全PT

- ・農地海岸(延長29km)の緊急点検を実施し、堤防機能維持を確認。損壊箇所等に対し、9/10からの大潮に備え、応急工事を完了する予定。
- ・波返(パラペット)の亀裂箇所はモルタル充填等の応急工事を**実施済み**。
- ・堤防天端コンクリートの損壊箇所および堤防の漏水箇所(機場周辺等)で応急工事を**実施中**。併せて、8/28から潮遊池等の継続的な塩分濃度の観測に着手。

被災直後



応急対応



対応状況**■農地・農業用施設の被害状況調査支援及び応急対策・応急復旧**

- ・発災直後から農村振興局職員により、市町へのLO派遣をはじめ、緊急点検や未通水対策等を述べ**546名**で支援。
(被害状況調査：7/30～8/6、ため池関係等：7/29～8/2、氷川大堰：8/10～)
- ・防災重点農業用ため池では、国、県、市町において、ブルーシート掛け等の応急対策を実施済。加えて監視体制を強化中。
- ・不知火幹線水路(八代市)では、8/6に国が応急復旧(試験通水)を実施。
- ・幹線用水路(氷川町)では、8/7に県が応急復旧(通水試験)を実施。

■相談窓口の設置

- ・各広域本部(地域振興局)農業普及・振興課に「営農相談窓口」を、団体支援課(096-333-2371)に「金融相談窓口」を設置。
⇒8/27時点の営農相談件数は130件。農業用地下水の塩分分析、農業用施設や機械の再取得などの相談が寄せられている。
(関係機関の災害等特別相談窓口)
日本政策金融公庫熊本支店(農林水産事業) 096-353-3104
農林中央金庫熊本支店 096-353-1147
- ・農業保険の対応について農林水産省から、振込期限の延長、共済金の迅速な支払い、収入保険に係るつなぎ融資の実施等に関する通知あり。

■農業革新支援センター情報の発出

- ・技術情報として「油流出防止対策」、「イチゴ苗対策」、「塩害対策」、「農薬容器破損対応」、「台風対策」、「水稻栽培における水管理」、「トマト苗の管理」、「農業用水利用時の留意点」の8情報を発出。

■農林水産省からの支援

- ・全国からポンプなどの災害対策機材とともにMAFF-SATの派遣を受け、技術指導及び被害調査等の支援(7/28～、延べ**約3,500人・日**)
＜主な内容＞
 - 宇城市・八代市・氷川町等の農地・農業用施設の被害調査(7/30～、延べ338人・日)
 - 氷川町水路復旧支援(8/3～、延べ**1,052人・日**)
 - ため池点検・緊急対策(7/31～、延べ**126人・日**)
 - 県・市町へのリエゾン派遣(7/28～、延べ**229人・日**)
- ・林野庁(九州森林管理局含む)からの派遣(7/29～、延べ**38人・日**)
- ・水産庁(九州漁業調整事務所含む)からの派遣(7/29～、延べ24人・日)
- ・ヘリによる林野関係被災状況調査を実施(7/30)
⇒被災状況の把握等を国と連携して対応
- ・県、市町村、農林水産関係団体等に向けて、8/27に策定された「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ(農林水産関係)」に係る説明会を9/3に実施。



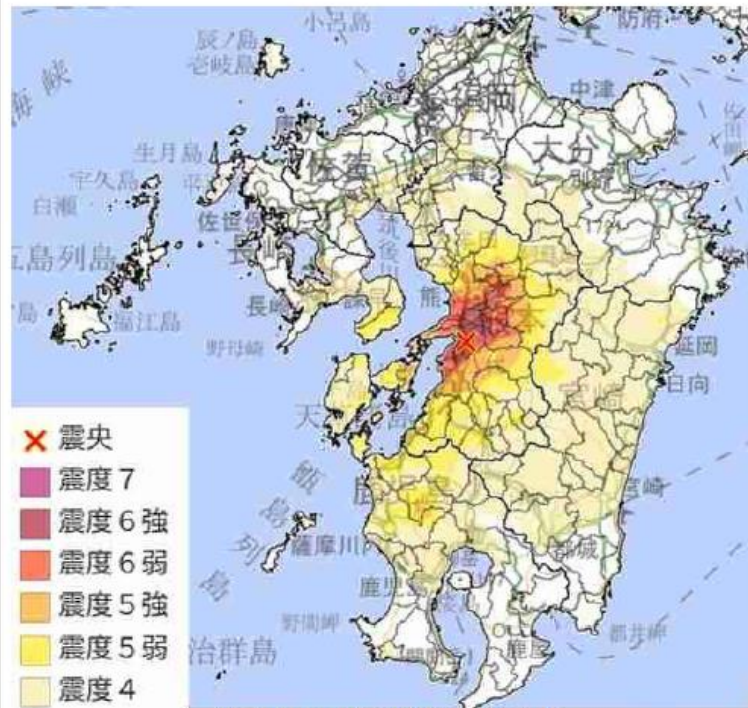
令和8年熊本地震に関する農林水産省の活動 ～発災から1か月間のあゆみ～

MAFF
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries



1 令和8年熊本地震の概要

- 令和8年7月28日 16時27分頃、熊本県熊本地方でM7.1（震源深さ16km）の地震が発生。
- 熊本県宇城市・氷川町において震度7を観測し、震度1以上の地震を計727回記録（8月29日9時時点）。
- 熊本県における農地海岸堤防や農業用水路、ため池等で被害が発生し、農地・農業用施設等において15,029箇所の被害を確認。被害額は約960億円の見込み（8月31日14時時点）。



気象庁HP 推計震度分布より



ため池堤体の応急処置（シート張り）

農地・農業用施設等の被害

	被害 箇所数	被害金額 （千円）	地域
田・畑	5,035	6,117,468	八代、上益城、宇城、熊本、菊池、天草、阿蘇、玉名、芦北
農業用施設	9,159	67,695,549	八代、上益城、宇城、熊本、菊池、天草、阿蘇、玉名、芦北、球磨
海岸保全施設	835	22,200,000	八代、宇城、熊本
農地・農業用施設等 被害額 計		96,013,017	

R8.8.31時点



ボックスカルバートの破断



コンクリート舗装の割れ



水路への建物の倒壊



ため池堤体のクラック



堤防波返しへの傾き

2 地震発生後の初動体制、被災調査 (MAFF-SATによる被害状況調査、リエゾン派遣、トリアージ)

○ MAFF-SATとは、農地・農業用施設及び農村生活環境施設が被災した際、迅速な被害把握や応急復旧を支援するため、被災自治体に派遣される農林水産省職員のチーム。

支援の内容

派遣された職員は、①初期情報収集、②緊急概査、③技術支援を行います。
また、必要に応じ試験研究機関等への専門家の派遣要請を行い、合同で調査及び支援を実施します。

災害発生

都道府県・市町村等からの要請により派遣を行うほか、
災害の規模(甚大性、広域性)等によりプッシュ型で派遣を行います。

①初期情報収集

今後の支援の必要性を判断するため、被災の範囲・規模、応急対策の必要性、被災自治体の要望等に関する基本情報の把握を行います。

②緊急概査

農地・農業用施設及び農村生活環境施設の被災状況(箇所、面積)の把握や被害額の算出等に関する支援を行います。

③技術支援

被災した農地・農業用施設及び農村生活環境施設の応急対策の実施や災害復旧計画の工法の検討等に関する技術的な支援を行います。

本格復旧着手



①初期情報収集



②緊急概査



③技術支援

①初期情報収集



②緊急概査 (堤防変状調査)



③技術支援 (応急ポンプの設置)



2 地震発生後の初動体制、被災調査 (MAFF-SATによる被害状況調査、リエゾン派遣、トリアージ)

- 九州農政局農村振興部では、7月28日の震災発生後、同日中に災害対策本部を設置し対応を開始。併せて県庁にリエゾンを派遣。
- 令和8年熊本地震（7月29日）以降、被害の有無や課題、要望等を確認するため、大きな揺れ（震度5弱以上）を観測した市町村をMAFF-SATが訪問。
- 7月30日からは他の地方農政局からの応援職員とともにMAFF-SATが被災調査を実施。

(時系列)

- 7月28日 16:27ごろ 地震発生
16:30 災害対策本部設置、局長指示
県へリエゾン派遣
- 7月29日 市町村の被害状況等の確認開始
- 7月30日 他農政局から派遣されたMAFF-SAT職員が
到着し、派遣職員も含めた被災調査の開始



MAFF-SAT市町村訪問

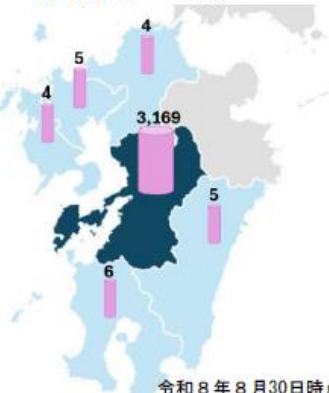


MAFF-SAT派遣者数
農政局別（延べ人数）

本省	180
東北	64
関東	59
北陸	295
東海	286
近畿	456
中国四国	465
九州	1,388

令和8年8月30日時点

MAFF-SAT派遣者数
県別（延べ人数）



令和8年8月30日時点

令和8年熊本地震における取組目標

- 1 国民・施設の安全を確保する
地震による被災を受けた農業用施設等の点検・調査を実施し、地域の住民の人命・財産の安全確保と情報提供に努める。
- 2 営農再開につなげる
被災農業者の早期営農再開を支援する。

3 被害状況

- 国営かんがい排水事業八代平野地区は、幹線水路の延長34.1kmのうち、全面復旧が必要な範囲3.16km、目地補修が必要な58箇所を確認。
- 県営かんがい排水事業氷川下流地区は、幹線水路（延長13.6km）の右岸側最上流部が破断し、右岸側約890haが断水。その他の幹線、支線も多数の損壊を確認。

【国営かんがい排水事業八代平野地区】

○ 被害状況



○ 被害状況調査



【県営かんがい排水事業氷川下流地区】

○ 被害状況



○ 被害状況調査



3 被害状況

● 防災重点農業用ため池

- 令和8年熊本地震を受け、発災直後からMAFF-SATを派遣し、熊本県職員と協力して被害状況調査を実施。
- 防災重点農業用ため池は、九州管内674箇所（うち熊本県446箇所）で点検を行い、熊本県内の56箇所では異常を確認。

○ 被害状況



○ 被害状況調査



3 被害状況

● 直轄海岸保全施設整備事業 八代地区

- 令和8年熊本地震により昭和工区においては、堤防のクラック、樋門部波返工の傾き、空洞化が発生。郡築工区においては、堤防道路に亀裂や沈下、堤防のクラック、潮遊池護岸の法肩が損傷。
- MAFF-SATの一員として地質の専門家である地質官を派遣し、被害状況の把握及び復旧工事の検討を実施。

○ 被害状況



昭和工区



郡築工区

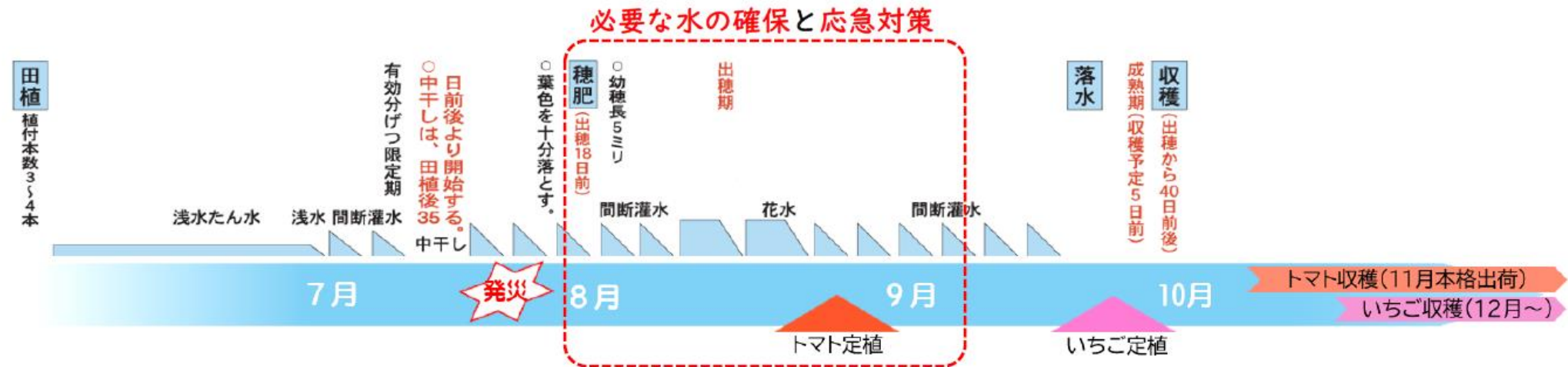


○ 被害状況調査



4 応急復旧等

- 発災後、地域の農業インフラが壊滅的な被害を受け、農作物の生育に欠かせない用水確保が困難な状況。
- このため、九州農政局は、農業被害の状況把握や用水確保など応急対策の緊急対応を実施。
- MAFF-SATは、被災農業者が継続して営農ができるように、用水確保など応急対策に全力で挑む。



MAFF-SATによる用水供給可能範囲把握



MAFF-SATによる空気弁の点検・確認



用水路への農業用水ポンプアップ



ほ場への用水供給再開

4 応急復旧等

【7月28日時点】
(発災直後)

- ・ 広範囲において幹線水路等が損傷。
- ・ 頭首工施設の損傷が無いことを確認し、球磨川からの取水及び幹線水路への通水停止。
- ・ 損傷箇所の確認に着手。
- ・ 暫定的な用水手当のためのポンプ（8月2日から稼働）及び給水車（8月3日から稼働）確保に着手。



【8月8日時点】
(順次、用水供給開始)

- ・ [北岸地域]
幹線水路等の応急復旧工事を行い、通水可能であることを確認のうえ、農地への配水を順次開始（通水量の減を踏まえ、区域を分けたローテーション配水を実施）。
- ・ [南岸地域]
末端水路の損傷による一部の用水供給停止地域の応急復旧工事に着手（8月12日から用水供給再開済み）



【8月27日時点】
(現在)

- ・ ローテーション配水等の緩和に向け、通水量の増量のため、沈下した幹線水路の水路壁嵩上げ、排水路や沢水から幹線水路への注水等を実施。
- ・ 用水の農地への配水状況を情報収集し、配水支障箇所に応急ポンプ等による対応を順次実施。



用水供給停止
 用水供給中（試験通水完了）
 用水供給中（用水確保対策実施中）
 用水供給中
 応急ポンプ設置箇所

4 応急復旧等

【国営かんがい排水事業八代平野地区】

- 被災した幹線水路等の応急復旧工事を実施し、8月8日から農地約4,400haへの送水を再開。
- 給水車による用水供給について、JA及び土地改良区を通じて地域に周知し、トマト、イチゴ等の園芸作物農家に対し希望農家への配水を実施。
- 用水路の応急復旧までの間、80台以上のポンプ及びポンプ車4台を配備し、用水路への補給を実施。
- 追加対策工事により送水量を増強し、8月23日までに末端水路最下流部への配水を確認。さらに、8月29日及び30日に沈下した水路壁の嵩上げや漏水箇所の補修を行い、通水を再開。

用水路への水の補給



追加工事により送水量を増量



漏水箇所の補修



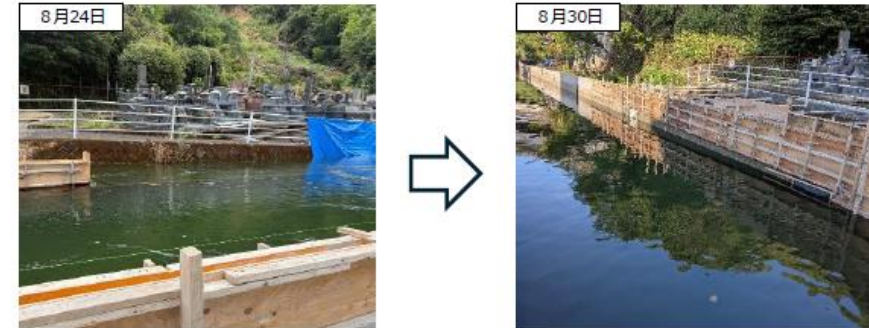
給水車による配水



ポンプによる農業用水の供給



水路壁の嵩上げ



4 応急復旧等

【県営かんがい排水事業氷川下流地区】

- 氷川大堰直下の幹線水路の被災後、国・県が用意した約100台のポンプを投入。また、イチゴ農家等のために大堰の取水口にポンプを2台設置。8月7日から断水した農地への段階的な配水を開始。
- 農研機構（農村工学研究部門）とMAFF-SATが、幹線水路の応急復旧と暫定通水を支援。
- 8月22日から充水試験を実施し、25日には上流域の約190haの大半の農地において、幹線水路からの用水供給が可能となったことを農家へ周知。9月1日までに、幹線水路約13.6kmの充水が完了。

幹線水路の被災状況



幹線水路の仮復旧状況



幹線水路の管内面補修状況



(内面バンド：一部、水資源機構より提供)

応急的な取水のため用水路の充水



給水車用の
応急取水ポンプ設置



幹線水路の落水を取水



ハウス横のタンクへ給水



ハウスでの水利用



4 応急復旧等

- 令和8年熊本地震による点検対象の防災重点農業用ため池は674箇所（うち熊本県は446箇所、被災箇所は56箇所（うち決壊0箇所））。
- 県又は市町村が行う応急対応に関し、現地へMAFF-SATを派遣し、技術的助言、被害箇所へのブルーシートの設置、水位計の設置などを支援。
8月20日までに、応急対応が必要な箇所について全て対応済。
- 応急対策として、ポンプを用いて河川から揚水し、農業用水を確保。
- 海岸保全施設の堤防道路の亀裂や沈下、堤防のクラック、樋門部波返工の傾きなどの応急復旧を実施。

【ため池】



○ 応急的な農業用水確保



【海岸保全施設】



5 地元農家が営農継続（1/2）

- MAFF-SATの活動により、用水路の通水等による応急的な農業用水が確保され、農地に水が届くことで今期の営農が継続された。

応急用水供給・用水路の通水



5 地元農家が営農継続（2/2）

- 今後は、応急対策から本格的な復旧・復興のステージへ移行。
- 今期の営農用水確保を優先しつつ、本格復旧に向けて引き続き支援を行う。

農業用水の確保により今期の営農を継続



(参考) SNSによる情報発信の取り組み

- 農林水産省では、SNSを活用し、MAFF-SAT（農林水産省サポート・アドバイス・チーム）の取組を発信。
- 九州農政局のXアカウントでは、フォロワー数276人ながら、高い注目を浴びた。

農林水産省X

農林水産省 maff | Facebook



農林水産省農村振興局
8月4日 15:11

【農地・農業用施設等MAFF-SAT情報 その2】

令和8年熊本地震により被災した国営かんがい排水事業八代平野地区の水路において農業用水が通水できなくなっている箇所に対し、土地改良技術事務所が保有する応急ポンプを設置しました。
また、九州農政局八代平野農業水利事業所が地元民間業者と協力して同地区内に給水車も手配し、地域の営農に必要な農業用水の確保を図りました。

九州農政局X

農林水産省 九州農政局 (@MAFF_KYUSHU) / X



農林水産省 九州農政局
@MAFF_KYUSHU

【被災したため池を守る】

長年、地域の水田を潤してきたため池。
激甚により堤体等に被害。
MAFF-SATは、被害の拡大を防ぐ応急対策や必要に応じて、水位計を設置。
監視体制を整え、地域の安全を守ります。

#令和8年熊本地震 #災害支援 #九州農政局



11:56 · 2026年8月27日 · 6256 再生数

農林水産省 九州農政局 @MAFF_KYUSHU · 8月25日

【試験通水の裏側】
氷川大堰掛かりの試験通水。
気温37℃超の中、マンホールの重い蓋を開け充水確認。
時には溜まった水を抜き、地元の万へ通水確認も。
地道な作業の積み重ねが、農地へ水を届ける。
今日もMAFF-SATは前進中。

#令和8年熊本地震 #災害支援 #九州農政局



5 144 694 5.7万

広報の重要性

けいたろう@Manusフェロー
@keitaro_aigc



フォロワー276人の投稿が14万表示。熊本の田畑に水を戻した「防災9日間の総力戦」7つの記録

九州農政局のXアカウントでは、フォロワー数276人ながら、1つの投稿が14万回表示され、高い注目を浴びた。

対応状況

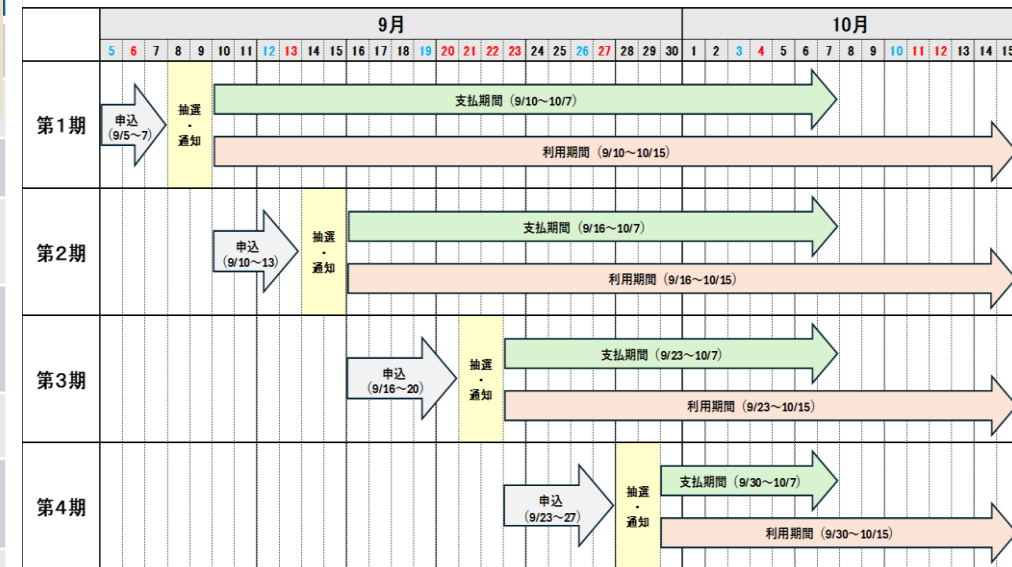
■プレミアム付き食事券「食べて応援！食のみやこ熊本券」の発行について

地震の影響により県内の飲食店の売上げが大きく減少。緊急的な外食需要喚起策として、プレミアム付き食事券「食べて応援！食のみやこ熊本券」を発行する。

名 称	食べて応援！食のみやこ熊本券
決済手段	「くまモン！Pay」デジタル商品券
プレミアム率	25%
販売価格	1口10,000円（12,500円分利用可能）
申込期間	9月5日（土）から申込開始 第1弾～第4弾の4回に分けて申込受付
申込上限 ※各回抽選	申込毎に1人あたり 4口（50,000円分利用可能）まで 最大 4口×4回＝16口（200,000円分利用可能）まで
発行口数	20万口（25億円分）
利用期間	9月10日（木） 店舗での利用開始 10月15日（木） 店舗での利用終了
利用可能店舗	熊本県内の「食のみやこ熊本券」登録飲食店 ※対象店の考え方はGoToEatに準拠 ※「食のみやこ熊本」応援宣言を行った飲食店



販売・利用スケジュール



【参考1：国の支援パッケージ（抜粋）】

九州地方における観光復興をいち早く遂げるため、旅行・宿泊料金の割引支援策「九州ふっこう応援割」を実施し、観光需要を喚起する。それに先駆けつつなぎの対応として、外食需要の早期回復に向けた熊本県による時宜を得た機動的かつ集中的な取組を、国としても支援する。

【参考2：8/31 代表質問 知事答弁（抜粋）】

これまで人命救助や避難所での生活支援などを進めて参りましたが、熊本の経済を取り戻していく取り組み、その復興も重要になっております。県民の皆様、この苦難をですね。県民全体で支え合って、乗り越えて参りましょう。被災地を支えていくためにも、私たち熊本県民が、熊本の経済をしっかり回していきましょう。熊本を応援してくださっている全国全世界の皆様、そして熊本県民の皆様も、熊本県産品を「買って食べて応援」してください。

第2回
令和8年熊本地震復旧・復興本部会議

R8.9.3（木） 12：00時点

被害状況

【公共土木施設の被害報告状況】

○県内の市町村を含む公共土木施設の被害は、8月27日時点で被害箇所数2,191箇所、被害額約1,567億円。

対応状況

【道路、河川、海岸、港湾、砂防施設、土砂災害、公園、下水道】

- 被災箇所について災害査定に向けた調査等を実施中。
- 被災市町村等を対象に国と連携して災害査定説明会（8/25、9/1）を実施。
- 八代市、宇城市、氷川町にて災害査定に向けた個別相談（8/31、9/1）を実施。

【河川】

- 宇城・八代地域の水位周知河川7河川について、基準水位を引き下げて暫定運用中（8/7～）。

【港湾】

- 八代港：国が実施していた「管理代行」のうち、「クルーズ岸壁・コンテナ岸壁・コンテナヤードの応急措置」は11/30まで延長。
- 八代港の早期復旧に向けて、国交省主催の八代港被災施設復旧技術検討会を設置し、復旧設計方針を検討中。

【公営住宅等】

- 県営住宅、国家公務員宿舎、市町村営住宅での被災者受入（一時利用）について、受付実施中。
※住まいに係る各種情報を一元的に整理し、被災市町村の窓口や避難所等での周知を強化。

対応状況

【建築・盛土】

- 建築関係団体と連携した被災者向け住宅再建電話相談を実施中
- 建設型応急住宅の整備状況

市町村名	団地数	整備戸数	うち完成戸数	着工日	入居予定日	備考
八代市	5団地	138戸	0戸	8月11日～8月26日	10月上旬～10月下旬	追加用地協議中
宇土市	2団地	62戸	0戸	8月22日、8月29日	10月下旬、11月上旬	追加用地協議中
宇城市	4団地（第2期）	70戸+（79戸）	0戸	8月3日、8月29日	9月下旬～11月上旬	追加用地協議中
美里町	2団地	52戸	0戸	8月9日、8月22日	10月上旬、10月中旬	追加用地協議中
甲佐町	1団地	20戸	0戸	8月18日	10月上旬	追加用地協議中
氷川町	4団地	82戸	20戸	8月3日～8月26日	9月上旬～10月中旬 9月5日吉本仮設団地入居開始予定	追加用地協議中 8月29日吉本仮設団地完成
合計	18団地	503戸	20戸			

※熊本市は、8月10日に3団地50戸の建設工事に着手。入居は9月中旬以降。

【国土交通省等からの支援】

- TEC-FORCE等の派遣：**9月3日時点で延べ約 5,500人・日**（本日は1市1町で活動中）
- 災害対策用機械等の派遣（対策本部車：氷川町、給水車：八代市・宇城市、スターリンク：宇城市役所、美里町役場）
- 防災用コンテナ型トイレの派遣（美里町カトリック、小川町総合文化センター、氷川町伝承館、竜北グラウンド、八代市鏡支所、道の駅竜北）

今後の対応

- 建設型応急住宅整備とともに、道路、河川・港湾・公園・下水道の本復旧に向けて全力を挙げる。

第2回

令和8年熊本地震復旧・復興本部会議

R8.9.3（木）12：00時点

被害状況

○電気事業

- ・運転停止した笠振発電所及び緑川第三発電所が7月29日中に運転再開
- ・他の発電所及び幸野・船津ダムに異常なし

○工業用水道事業

- ・三工水（有明、八代※、苓北）の浄水場内設備に被害なし
※八代工水の浄水場敷地内に地盤沈下あり（給水等に影響なし）
- ・有明及び苓北の場外配管に被害なし
- ・八代の場外配管に漏水被害あり
- ・新規工水工事現場での被害なし

○有料駐車場事業

- ・県営駐車場は補強部材のコンクリート被膜にクラックあり

今後の対応

- ・八代工水の漏水被害について詳細調査及び対策工事

被害状況

【人的被害】（熊本市分を含む） ※学校活動中の被害に関わらず人数を計上

- 学校 92名（児童生徒 85名 教職員 7名）
- 社会教育施設 11名（利用者 9名 職員 2名）

【物的被害】（熊本市分を含む）

- 学校 **361**校（県立64校、市町村立**297**校）
 - ・宇土中・宇土高：校舎柱にクラック ・御船高校：校舎柱にクラック ・松橋西支援学校：校舎廊下天井の落下 ・松橋支援学校：体育館柱脚の破損
 - ・八代市立龍峯小学校：グラウンド地割れ、校舎損傷 ・宇城市立豊野小中学校：校舎外壁にクラック ・甲佐町立乙女小学校：建物のひび・ずれ
 - ・氷川町立宮原小学校：校舎にクラック、体育館柱脚の破断、ずれ ・氷川町立竜北東小学校：体育館柱脚のクラック、欠損 等
- 学校関係施設 78施設（県立12施設、市町村立66施設）
 - ・給食センター建物の壁にクラック 教職員住宅の瓦落下 等
- 文化財 281施設（登録件数）
 - ・熊本城：石垣崩落 ・八代城跡：石垣崩落並びに石塔倒壊 ・人吉城跡：土砂崩れ ・松浜軒：損壊 等
- 社会教育施設 69施設
 - ・豊野少年自然の家：ガラス割れ、水道管破裂
 - ・氷川町文化センター：柱のひび割れ、タイル・石積のずれ ・八代市立図書館：建物のひび・ずれ 等
- 社会体育施設 97施設
 - ・熊本県陸上競技場：支柱土台破損、天井コンクリ片落下 ・藤崎台県営野球場：グラウンドにひび ・県営八代運動公園：陸上競技場の液状化
 - ・熊本甲佐総合運動公園：園路被災（噴砂） 等

対応状況

【学校運営支援等】

- **被災した全学校が9月1日までに教育活動を開始**
- 学校給食の確保
 - ・ **当面、簡易給食等に対応しながら被災した調理場の応急復旧等を進め、可能な学校から給食再開**
- 児童生徒・教職員の「心のケア」について
 - ・ スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）等も含めた支援体制整備に着手
 - ・ 日本学校心理士会熊本支部と県教委との共催により、子どもとのかかわり方、見守りに関する保護者及び教職員等向けオンライン研修会を実施（8/29）
- 教育活動開始に向けたオンライン情報提供会（8/20）、防災主任研修会（8/25）を実施
- 児童生徒が安心して登下校できるための支援を実施中（8/28～：甲佐町、八代市 8/31～：宇土市、宇城市 **9/1～：氷川町**）

対応状況

- 地震の影響で在籍校に通学できない小中高生のための学習（自習）スペースを近隣の県立高校に設置
- 市町教育委員会への学校支援チームの派遣状況
 - ・ 八代市：岡山県（8/4～）、大阪府（8/17～）
 - ・ 宇城市：三重県（8/5～28）、兵庫県（8/6～）
 - ・ 氷川町：熊本県（7/31～）
 - ・ 宇土市：京都府（8/17～）、滋賀県（8/24～28）、**東京都（8/31～）**
 - ・ 美里町：埼玉県（8/17～28）
 - ・ 甲佐町：熊本県（8/18～）

【教育施設の復旧】

- 学校及び社会教育施設の復旧に向け、事業計画書作成等に着手

【文化財の復旧】

- 未指定文化財等の被害状況把握及び保護のため文化財レスキューを（独）文化財防災センター等と連携し、9月3日から本格的に開始
 - ・ 国指定名勝「松浜軒」の解体に併せて、美術工芸品の文化財レスキューを実施中
 - ・ レスキュー要請のあった未指定文化財1件5点を救出し、県有施設で保管中
- 被災した歴史的建造物・土木構造物の被害状況の把握および保護のための文化財ドクター事業の発動について文化庁に要請（8/7）
- 被災文化財の復旧及び被災市町村との支援を円滑に進めるため文化財復旧チームを設置
宇城市、八代市、氷川町を中心とした文化財被害状況について県による確認作業を実施中



甲佐町立乙女小学校



八代市立太田郷小学校



八代市立龍峯小学校



氷川町立宮原小学校



八代市立第三中学校



宇城市立豊福小学校



宇城市立豊野小・中学校



宇城市立小川中学校



宇土市立花園小学校



氷川町立竜北西部小学校



氷川町立竜北東小学校

警察の対応

被災地の警戒・警ら

- 発災直後**から、熊本県警察の八代署、宇城署、御船署等が連携して**警戒・警ら**を実施
- 特別自動車警ら部隊及び特別警備部隊（機動隊）が被災地の**警戒・警ら**を実施



特別自動車警ら部隊による警戒・警ら

防犯カメラの設置

- 被災地における犯罪抑止を目的として、避難所や避難者の多い地域の街頭等に**防犯カメラ約950台**を順次設置中



被災地への防犯カメラの設置

被災者への支援

- 被災者支援部隊が、
 - ・**避難所**における**相談対応、防犯指導**
 - ・**車中泊者**への**声かけ、ペットボトル飲料水や「熱中症対策」「ホテル避難案内」**等各種**チラシの配布**
- を実施
- 市町村役場に依頼し、**悪質な訪問業者に関する注意喚起ポスター**を掲示



被災者支援部隊による相談対応

県外応援部隊及び関係機関と連携して、警戒・警ら等の警察活動を引き続き実施

警察の対応

交通対策

○広域緊急援助隊（交通部隊）が、被災地において**交通整理**や**交通指導**を実施

※同部隊は派遣終了

○九州自動車道全線の交通規制を解除

○信号機の滅灯が解消



広域緊急援助隊による交通規制

検挙対策

○特別機動捜査部隊及び県警の特別捜査隊が被災地において**犯罪捜査**、**よう撃捜査**等を実施



特別機動捜査部隊による捜査活動

情報発信

○警察庁HP、X（旧Twitter）等において、**活動状況や防犯情報**を発信

○以下**QRコード**から確認可能



警察庁X（旧Twitter）のQRコード



熊本県警察本部犯罪抑止対策室X（旧Twitter）のQRコード



警察庁X（旧Twitter）による発信

救出・救助活動

○熊本県警察と広域緊急援助隊が一丸となり、警察犬を活用するなどして、被災地における**救出・救助活動**を実施

○ヘリコプターによる被災状況等の情報収集を実施

○**67人を救助**



熊本県警察と広域緊急援助隊による救出活動

議題（２）

令和８年熊本地震に係る国の熊本支援パッケージを
踏まえた予算化の状況

国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（総務部）

- 国の熊本支援パッケージ「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ（8月27日公表）」を踏まえ、8月補正予算（追加提案）等において、被災施設の早期復旧の視点から必要な事業を予算化
- 今後は、庁舎の復旧工事等に要する経費や私立学校施設の災害復旧に対する助成等について、準備が整い次第、速やかに予算化する方向

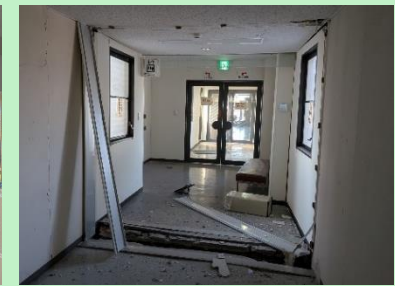
【8月専決予算、8月補正予算（追加提案）で計上している事業（主なもの）】

<被害状況写真>

- ① 県庁舎等施設災害復旧費 4.4億円
被災した県庁舎や総合庁舎の応急復旧等に要する経費
- ② 県立大学施設災害復旧費 0.7億円
被災した県立大学の復旧に係る経費



【県南広域本部】



【宇城地域振興局】

【今後の予算計上に向け準備を進めている事業（主なもの）】

<被害状況写真>

- ① 県庁舎等施設災害復旧費
被災した総合庁舎の復旧工事等に要する経費
- ② 私立学校施設災害復旧事業
被災した私立学校施設の災害復旧に対する助成



【私立高校グラウンド】



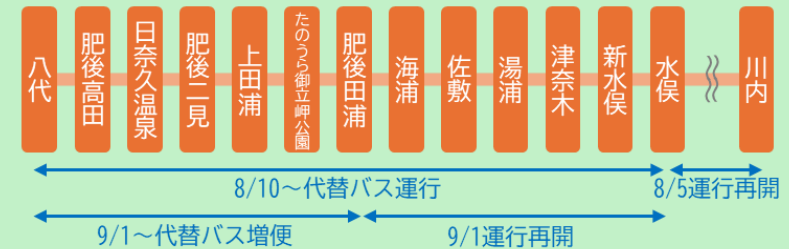
【私立専修学校建物】

国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（企画振興部）

- 国の熊本支援パッケージ「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ（8月27日公表）」に先立ち、8月専決予算において、鉄道不通区間の移動手段確保の観点から必要な事業を予算化
- 今後は、肥薩おれんじ鉄道の災害復旧費について、準備が整い次第、速やかに予算化する方向

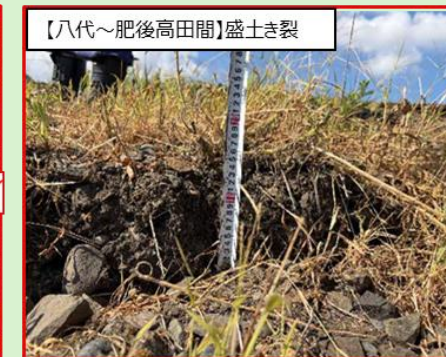
【8月専決予算で計上している事業】

- ① 並行在来線対策事業 83百万円
肥薩おれんじ鉄道が行う代替バス（八代～水俣間）の運行に要する経費



【今後の予算計上に向け準備を進めている事業（主なもの）】

- ① 肥薩おれんじ鉄道災害復旧支援事業
被災した肥薩おれんじ鉄道の復旧への支援



国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（健康福祉部）

- 国の熊本支援パッケージ「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ（８月２７日公表）」を踏まえ、８月補正予算（追加提案）において、必要な事業を予算化
- 今後は、建設型応急住宅の建設に要する経費等について、準備が整い次第、速やかに予算化する方向

【８月補正予算（追加提案）で計上している事業（主なもの）】

- ① 災害救助事業 ２９億円
DMAT等専門職支援チームの活動費、避難所の維持管理に要する経費等
- ② 社会福祉施設等災害復旧費 １１６億円
被災した社会福祉施設等の復旧に要する経費に対する助成等
- ③ 被災者に対する総合的な支援体制構築関連事業 ７億円
地域支え合いセンター及びこころのケアセンターの設置、被災による生活困窮者の支援に要する経費等

(↓) DMATの活動

(↓) 避難所における洗濯環境の提供



【今後の予算計上に向け準備を進めている事業（主なもの）】

- ① 災害救助事業
建設型応急住宅（自宅敷地内設置を含む）の建設に要する経費等
- ② 社会福祉施設等災害復旧費
被災した高齢者関係施設等の復旧に要する経費に対する助成（国の補助対象拡充分）



(↑) 建設型応急住宅の建設

国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（環境生活部）

- 国の熊本支援パッケージ「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ（８月２７日公表）」を踏まえ、８月補正予算（追加提案）において、井戸の被害状況調査や災害に係る消費生活相談機能強化等、必要な事業を予算化
- 今後は、災害廃棄物処理や井戸の復旧への支援等について、準備が整い次第、速やかに予算化する方向

【８月補正予算（追加提案）で計上している事業（主なもの）】

- ① 災害救助事業 ６億円（健康福祉部が計上した２９億円の内数）
被災した井戸の復旧等への支援（井戸の調査、洗浄等）
- ② 災害関連消費生活相談機能強化事業 ７百万円
災害に便乗した消費者トラブル防止の注意喚起及び消費生活相談会実施に要する経費



井戸洗浄作業及び改善事例

【今後の予算計上に向け準備を進めている事業（主なもの）】

- ① 環境保全基金（災害等廃棄物）積立金
地震で発生した災害廃棄物を処理する市町村に対する助成のための基金への積み立てに要する経費
- ② 災害救助事業
被災した井戸の復旧等への支援（井戸掘削、配管修理等）



仮置場の様子

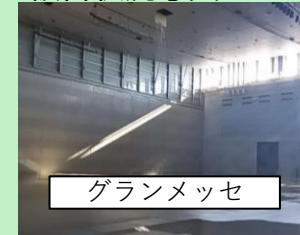
国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（商工労働部）

- 国の熊本支援パッケージ「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ（8月27日公表）」を踏まえ、8月専決予算、8月補正予算（追加提案）において、資金繰り支援や産業拠点等の早期復旧の観点から必要な事業を予算化
- 今後は、被災事業者の支援や地域の雇用対策などの事業について、準備が整い次第、速やかに予算化する方向

【8月専決予算、8月補正予算（追加提案）で計上している事業（主なもの）】

- ①被災中小企業者向け資金繰り支援 計74.2億円
県融資制度の新資金創設による被災中小企業者への資金繰り支援
- ②産業拠点等施設の復旧等事業 計3.2億円
被災したグランメッセ等の復旧に要する経費

<被害状況写真>



グランメッセ



技術短期大学校

【今後の予算計上に向け準備を進めている事業（主なもの）】

<被害状況写真>

- ① 被災事業者等再建支援事業（仮）
被災した中小企業者等の事業用施設・設備の復旧への支援
- ② 被災商店街等再建支援事業（仮）
被災した商店街等の復旧に要する経費



八代市本町商店街の状況

【参考：国が実施する主な取組み】

- ・雇用調整助成金 ※引き続き本激並みの助成率や支給日数を要望
- ・産業雇用安定助成金 ※能登半島地震と同等の内容を要望
- ・小規模事業者持続化補助金（災害支援枠）

など

国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（観光文化部）

- 国の熊本支援パッケージ「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ」を踏まえ、「九州ふっこう応援割」の早期実施に向けて、8月補正予算（追加提案）において必要な事業を予算化
- 今後は、国からの交付見込額を踏まえ、速やかに予算化する方向

【8月補正予算（追加提案）で計上している事業】

- ①観光需要回復・体制整備事業 0.1億円
観光需要回復に向けた対策の検討及び実施体制の整備に要する経費

【今後の予算計上に向け準備を進めている事業】

- ①くまもと観光応援割事業（仮称）
観光需要の早期回復及び喚起に要する経費

【「九州ふっこう応援割」概要】熊本県への交付限度額：68.6億円

(1)割引対象期間
令和8年10月1日(木)宿泊分から

(2)補助率 (3)限度額

熊本県・鹿児島県	60%
上記以外の5県	50%

宿泊単体商品・交通付宿泊旅行商品1泊	2.0万円
交通付宿泊旅行商品(2泊以上)	3.0万円
周遊型旅行商品(宿泊地が2県以上)	3.5万円

○イメージ図
(H28年度 九州ふっこう割)



○宿泊キャンセルの状況
(R8.8月末現在での把握分)

地域	キャンセル状況	
	人泊数	キャンセル額 (百万円)
熊本市	29,854	333
宇城	2,300	12
上益城	4,673	39
菊池	10,490	94
玉名	14,758	200
鹿本	9,775	158
阿蘇	60,206	981
八代	5,462	48
芦北	6,047	77
球磨	12,608	163
天草	34,451	588
合計	190,624	2,693

国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（農林水産部①）

- 国の「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ（８月２７日公表）」を踏まえ、８月補正予算（追加提案）において、必要な事業を予算化
- 今後は、地域畜産の再建等に向けた支援について、準備が整い次第、速やかに予算化する方向

【８月補正予算（追加提案）で計上している事業（主なもの）】

◇金融支援

- ① 令和８年熊本地震農林漁業災害対策利子助成費補助事業・・・・・・・・・・ ０．０８億円
 【団体支援課】被災した農林漁業者の運転資金借入に係る利子助成

◇ソフト事業

- ② 食のみやこ熊本「食べて応援」プロジェクト緊急支援事業・・・・・・・・・・ ７．５億円
 【流通アグリビジネス課】県内の登録飲食店で使用可能なプレミアム付き食事券の発行に要する経費
- ③ 令和８年熊本地震いぐさ畳表加工再開支援事業・・・・・・・・・・ ０．０４億円
 【農産園芸課】いぐさ原草や織機等の保管・加工場所の確保に対する助成

◇ハード事業

- ④ 卸売市場施設災害復旧事業・・・・・・・・・・ ０．２億円
 【流通アグリビジネス課】被災した卸売場、施設等の復旧に対する助成
- ⑤ 令和８年熊本地震被災施設整備等対策事業・・・・・・・・・・ ３１億円
 【農産園芸課】被災した共同利用施設（ハウス等含む）の再取得や修繕、解体等に対する助成
- ⑥ 農業共同利用施設再編集約・合理化支援事業（災害復興支援）・・・・・・・・・・ １２４億円
 【農産園芸課】被災した共同利用施設の再編集約・合理化に対する助成
- ⑦ 令和８年熊本地震営農再開支援事業・・・・・・・・・・ ５８億円
 【担い手支援課】被災した農業用機械・施設等の復旧に対する助成
- ⑧ 農地等災害復旧事業・・・・・・・・・・ １０９億円
 【農地整備課】被災した農地等の災害復旧に要する経費
- ⑨ 被災木材加工流通施設等復旧対策事業・・・・・・・・・・ ２億円
 【林業振興課】被災した木材加工流通施設等の復旧に対する助成
- ⑩ 水産業共同利用施設災害復旧事業・・・・・・・・・・ ０．３億円
 【水産振興課】被災した共同利用施設等の復旧に対する助成
- ⑪ 単県漁港漁場災害復旧設計調査費・・・・・・・・・・ １億円
 【漁港漁場整備課】被災した漁港施設の災害復旧に要する経費



▲ＪＡ熊本経済連
第二園芸集送センターの損壊
（宇城市）



▲いぐさ製織作業場の倒壊
（八代市）



▲物揚場の傾倒・沈下
（宇城市）



▲浮棧橋の損傷
（宇土市）

国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（農林水産部②）

【8月専決で予算化している事業（主なもの）】

◇金融支援

- ① 令和8年熊本地震緊急支援資金・・・・・・・・・・・・・0.1億円
 【団体支援課】被災した農林漁業者向けの運転資金を創設し金利負担軽減措置

◇ソフト事業

- ② 令和8年熊本地震営農再開支援事業（早期営農再開支援）・・・・・・・・・・1億円
 【農産園芸課】営農再開に向けた生産資材等の調達等に対する助成
- ③ 令和8年熊本地震梨産地復旧支援事業・・・・・・・・・・・・・0.5億円
 【農産園芸課】梨被災園の樹勢回復等や花粉確保の取組に必要な経費の支援

◇ハード事業

- ④ 農地等災害復旧事業・・・・・・・・・・・・・42億円
 【農地整備課】被災した排水機場等の災害復旧に要する助成



▲梨の落果（氷川町）

【今後の予算計上に向け準備を進めている事業（主なもの）】

◇ハード事業

- ① 農林水産業共同利用施設災害復旧事業（畜産）
 被災した共同利用施設（畜産）の復旧に対する助成
- ② 強い農業づくり総合支援交付金（被災産地施設支援）（畜産）
 被災した乳業工場の再取得や修繕に対する助成
- ③ 間伐等森林整備促進対策事業【令和8年度熊本地震対応分】（林）
 被災した苗木生産基盤施設の復旧に対する経費
- ④ 現年漁港漁場災害復旧費（水産）
 被災した漁港施設等の復旧に要する経費
- ⑤ 漁港施設機能強化事業費（水産）
 被災した漁港施設等と連携した漁港施設用地の機能回復・強化対策に要する経費



▲熊本県酪連熊本工場の損壊（熊本市）

国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（土木部）

- 公共土木施設については、激甚災害（本激）指定により国庫補助率のかさ上げが適用されるなど、国の熊本支援パッケージ「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ（8月27日公表）」にも災害復旧に係る支援が盛り込まれている
- これを踏まえ、8月補正予算（追加提案）において、公共土木施設の早期復旧等に必要な事業を予算化
- 県民の安全安心の確保を最優先に、生活基盤となる公共土木施設の1日も早い復旧に向けて全力で取り組む

【8月補正予算（追加提案）で計上：436.5億円（投資的経費）】

（主なもの）

- ① 公共土木施設の災害復旧等 268.9億円
被災した道路、橋りょう、河川、海岸等の復旧に要する経費
- ② 都市公園施設の災害復旧 15.2億円
県営八代運動公園をはじめ被災した都市公園施設の復旧に要する経費
- ③ 港湾海岸施設の災害復旧 106.6億円
八代港をはじめ被災した港湾海岸施設の復旧に要する経費
- ④ 道路橋の応急工事 7.4億円
被災した道路橋の応急復旧に要する経費



三本松甲佐線（甲佐町）



八間川（氷川町）



県営八代運動公園



八代港（八代市）



新萩原橋（八代市）



横江大橋（八代市）

【今後の取組み】

引き続き、応急対策を進めるとともに、被災された方の生活再建や地域の再生への歩を進めていけるよう、生活基盤となる公共土木施設の1日も早い復旧に向けて全力で取り組む。

国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（企業局）

- 国の熊本支援パッケージ「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ（8月27日公表）」に位置づけられた工業用水道の災害復旧事業について、8月専決予算及び8月補正予算（追加提案）において予算化

【8月専決予算、8月補正予算（追加提案）で計上している事業】

- ① 八代工業用水道災害復旧 1. 2億円
被災した工業用水道の管路等の復旧に要する経費



工業団地内（漏水） 八代市郡築（漏水） 白島浄水場（地盤沈下）

【今後の予算計上に向け準備を進めている事業（主なもの）】

他事業者と共有する水路等の災害復旧

国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（教育委員会）

- 国の熊本支援パッケージ「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ（８月２７日公表）」を踏まえ、８月補正予算（追加提案）において、公共施設等の災害復旧、被災した児童・生徒への支援の視点から必要な事業を予算化
- 今後は、公共施設や文化財の災害復旧等について、準備が整い次第、速やかに予算化する方向

【８月補正予算（追加提案）で計上している事業（主なもの）】

- | | |
|--|--|
| ①県立学校施設災害復旧事業 ２３億円
被災した県立学校の復旧に要する経費（設計委託費等） | ⑤スクールカウンセラー(SC)・スクールソーシャルワーカー(SSW)活用事業 １億円
被災地域の児童生徒への支援を行うSC、SSWの活動時間の拡充に要する経費 |
| ②県立高校産業教育設備災害復旧費 １０億円
被災した県立高校の産業教育設備、実習用機器等の復旧に要する経費 | ⑥特別支援学校通学支援 ４百万円
公共交通機関の運休等により通学困難となっている特別支援学校就学者への通学支援 |
| ③県営体育施設災害復旧事業 ２千６百万円
被災した県営体育施設の災害復旧に要する経費 | |
| ④青少年教育施設災害復旧事業 ２千万円
被災した県立青少年教育施設（豊野少年自然の家等）の復旧に要する経費 | |

【今後の予算計上に向け準備を進めている事業（主なもの）】

- | | |
|---|--------------------------------------|
| ①県立学校施設災害復旧事業
被災した県立学校の復旧に要する経費（工事費等） | ③文化財災害復旧事業
被災した国指定・県指定文化財等の復旧への支援 |
| ②青少年教育施設災害復旧事業
被災した天草青年の家の復旧に要する経費（講堂の地盤沈下に伴う対応） | |

国の熊本支援パッケージを踏まえた予算化の状況について（警察本部）

- 国の熊本支援パッケージ「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ（８月２７日公表）」を踏まえ、交通安全施設を復旧予定
- 交通信号制御機及び道路標識が被災したため、これら交通安全施設の復旧に要する経費について、準備が整い次第、速やかに予算化する方向

【今後の予算計上に向け準備を進めている事業】

- 交通安全施設災害復旧事業
被災した交通安全施設の復旧に要する経費

《復旧を要する交通安全施設》

- ・ 交通信号制御機 ４基
- ・ 道路標識（路側式） ７本

	熊本南警察署	宇城警察署	八代警察署	合計
交通信号制御機	1	1	2	4
道路標識 (路側式)	0	0	7	7



交通信号制御機の故障（八代市）



道路標識の倒壊（八代市、八代郡氷川町）

議題（３）

復旧・復興プランの策定について

復旧・復興プラン策定に向けたスケジュール

〈第1回〉
8月31日（月）

- ・ 「令和8年熊本地震復旧・復興本部」の設置
- ・ 復旧・復興プランの策定に着手

〈第2回〉
9月4日（金）

- ・ 復旧・復興プラン策定の考え方の説明

〈第3回〉
9月11日（金）

- ・ 被災市町長との意見交換

10月上旬

- ・ 復旧・復興プラン（素案）の策定
→ 被災市町長との意見交換 ※プラン素案に関する意見交換

10月下旬・

復旧・復興プランの策定

「令和8年熊本地震からの復旧・復興プラン」について

<復旧・復興の3原則>

被災された方々の
痛みの最小化

単に元に戻すだけでなく、
創造的な復興を目指す

復旧・復興を熊本の
更なる発展につなげる

<プラン策定の考え方>

度重なる災害によって
大変な苦境にある被災地の方々の
声にしっかりと耳を傾けて取り組む

+

目の前にある困難をバネに、
災害に強い熊本の実現、そして、
被災地の新たな創造的復興を強力に進める

最速で目指す痛みの最小化

〔 命と健康を守る被災者支援／住まいと暮らしの再建／社会基盤の早期復旧
地域経済・なりわいの再建／防災・減災の取組み 〕

重点取組みによる 被災地の新たな創造的復興

〔 新時代を担う地域産業の再興／新時代へつなぐ、ひと・まち・文化の創造
新時代を支え、守る基盤の構築 〕

仮